

医系専門予備校  
合格者数

**No.1**

2020年度入試 医学部医学科  
合格実績 **1,037名**

※1. 2020年度「医学部予備校ナビ」調べ

※2. 最終合格者数(2020年5月10日現在)

# わたし、絶対、医師になる。

医学部を目指すあなたのために、  
1対1の完全個別指導を合格するまで。

2020年度の合格者数1,037名は、医系専門予備校としてNo.1の実績。  
これは医学部受験のエキスパートであるプロ講師・担当が一人ひとりと1対1で向き合い、  
蓄積したデータと確かな戦略をもとに実力を育んだ完全個別指導の成果です。  
選択するならば、結果につながる道を。メディカルラボが、その答えです。

オンライン可 早期スタートコース

## 新規入校生受付中!

対象:高卒・新高1・2・3生

詳しくは  
こちらから↓



仁泉会ニュースより資料請求をいただいた方、限定!

医学部入試の必携本! 「医療用語マスター」

国公立医学部情報を網羅した「全国医学部最新受験情報」

医学部を目指す方に大好評の上記2点を、今だけ無料進呈。

お電話にて「仁泉会ニュースを見た」とお伝えください。



## 個別学校説明会・学習相談 随時実施中!

ホームページもしくは下記フリーダイヤルまでご連絡ください。

〒604-8134  
京都市中京区六角通烏丸東入堂ノ前町245  
メディカルラボ京都校 教務課直通フリーダイヤル

**0120-456-838**

スマートフォンからの  
申し込みはこちら



メディカルラボ

検索



医系専門予備校  
メディカルラボ、京都校

# 大阪医科大学 仁泉会ニュース

仁泉会ニュース 第52巻第1号

発行所

〒569-8686 高槻市大学町 2-7

電話 FAX

072-682-6166 072-682-6636

発行者 発行部数

安藤嗣彦 6,200部

URL

http://www.jinsenkai.net

# 謹賀新年





学校法人大阪医科薬科大学

# 大阪医科大学

## 創立100周年

### 記念事業募金

#### — 病院新本館建築 —



文字通り、ゼロからの出発  
何もない更地に、学舎をつくる。重機などを満足に調達できない中、多くの作業工程は学生と職員による“手作り”。その姿は“人間の手を介した医療”の象徴のようにも映ります。

#### since 1927 OMC History

1926 大正15年	大阪高等医学専門学校設立認可願提出
1927 昭和2年	財団法人大阪高等医学専門学校設置認可 大阪高等医学専門学校開校認可(修業年限5年)
1929 昭和4年	大阪高等医学専門学校附属看護婦学校設立認可
1930 昭和5年	本館、解剖館、別館、附属病院、臨床講堂竣工 三島病院(附属病院)開院
1935 昭和10年	本館屋上塔に大時計を設置
1941 昭和16年	新講堂と生理学実習室竣工
1946 昭和21年	大阪医科大学設置認可(旧制大学) 大阪医科大学 予科設置 医学部開学認可
1948 昭和23年	医学部開学認可
1950 昭和25年	附属看護婦学校(新制)開校
1951 昭和26年	学校法人大阪医科大学認可(組織変更による) 学校法人高槻高等学校認可 附属看護婦学校(新制度乙種)設置認可
1952 昭和27年	大阪医科大学設置認可(新制大学)現在に至る 大阪高等医学専門学校廃校 学位規程制定認可
1956 昭和31年	大阪医科大学大学院医学研究科設置認可
1959 昭和34年	大阪医科大学進学課程設置認可
1965 昭和40年	京都大学化学研究所跡土地建物と等価交換 講義実習棟竣工
1968 昭和43年	創立50周年記念式典開催
1975 昭和50年	大阪医科大学附属看護専門学校設置認可
1977 昭和52年	体育館竣工
1978 昭和53年	大阪医科大学附属看護専門学校3年課程(全日制)設置認可
1979 昭和54年	体育館竣工
1982 昭和57年	大阪医科大学附属看護専門学校3年課程(全日制)設置認可
1990 平成2年	総合研究棟竣工
1994 平成6年	特定機能病院承認 本館・図書館棟竣工
1997 平成9年	創立70周年記念式典開催

2003 平成15年	別館が国の有形文化財に登録
2005 平成17年	大阪医科大学附属看護専門学校新校舎竣工 病院7号館竣工 新講義実習棟竣工
2006 平成18年	歴史資料館設置
2007 平成19年	創立80周年
2009 平成21年	大阪医科大学健康科学クリニック開設 大阪医科大学看護学部設置認可
2012 平成24年	大阪医科大学附属看護専門学校開校
2013 平成25年	大阪医科大学大学院看護学研究科設置認可
2014 平成26年	学校法人大阪医科大学と学校法人高槻高等学校の法人合併
2015 平成27年	大阪医科大学訪問看護ステーション開設 大阪医科大学三島南病院開設 中央手術棟竣工
2016 平成28年	学校法人大阪医科大学と学校法人大阪薬科大学の法人合併
2017 平成29年	創立90周年記念式典開催
2018 平成30年	関西BNCT共同医療センター竣工

2021年4月大阪薬科大学と統合し「大阪医科薬科大学」となります。

## 2027



### ご支援のお願い

大阪医科大学は、私立大学として篤志家によって設立され、卒業生のお力添えをいただきながら、維持・運営され、成長してきた歴史があります。皆さまの温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

#### 要項

募金目的	大学病院新本館建築に係る資金の一部、並びに学生支援体制の充実を図る
募金目標額	10億円
募集期間	2018年10月～2027年3月
金額	個人 1口1万円、法人 1口10万円
顕彰	個人、法人ともに5口以上ご寄付いただいた方は、銘板にご芳名をしるし、末永く顕彰いたします
特典	個人10口以上、法人5口以上ご寄付をいただきました方は、健康科学クリニックの人間ドック(基本コース)1回分の無料健診券を進呈します。

#### 申込方法

大阪医科大学募金サイトよりお申込いただくか、募金推進本部までご連絡ください。  
<https://www.osaka-med.ac.jp/deps/bokin/>

#### 税制上の優遇措置

学校法人大阪医科薬科大学は特定公益増進法人であり、大阪医科大学に対するご寄付は所得税・法人税・相続税の税制上の優遇措置を受けることができます。また一部の自治体では、個人住民税の税額控除の対象となります。

# 目次

P4

### 新年のご挨拶

大阪医科大学 仁泉会理事長 安藤嗣彦 / 学校法人大阪医科薬科大学理事長 植木 實 / 大阪医科大学学長 大槻勝紀  
静岡県支部長 吹田浩之 / 石川県支部長 喜多 徹 / 岐阜県支部長 小嶋昭次郎 / 京都仁泉会会長 松本恒司  
港区支部長 奥村隆司 / 生野区支部長 村田高穂 / 阿倍野区支部長 福本敏子  
大阪医科大学仁泉会学内支部長 大阪医科大学病院病院長 南 敏明 / 高槻市支部長 保田 浩 / 吹田市支部長 丸川 治  
寝屋川市支部長 山本祐三 / 松原市支部長 松本泰仁 / 貝塚市支部長 川崎康寛 / 和歌山県支部長 田伏俊作  
川西市支部長 土肥恒夫 / 岡山県支部長 小出尚志 / 香川県支部長 石田達也 / 愛媛県支部長 井関亮甫  
高知県支部長 濱脇弘暉 / 長崎県支部長 西脇病院 西脇健三郎 / 宮崎県支部長 内田 攻

#### 学会報告

P32	日本臨床外科学会総会 第82回学術集会のご報告	大阪医科大学 一般・消化器外科 廣川文鋭、内山和久
P33	東雲出張版	医学部4回生 文芸部 黒川四郎
P34	第8回シミュレーション医療教育学会学術集会(10月24日)開催報告	医学教育センター 駒澤伸泰、中野隆史
P35	日本レチノイド研究会 第31回学術集会のご報告	瀧谷公隆(学術集会会頭、本学医学教育センター学38期)
	支部日より	
P36	令和2年度 尼崎伊丹支部総会	鈴木克司(学31期)
P37	令和3年度仁泉会学術集会助成申請について	
	クラス会日より	
P38	三三会報告	田中 陽(学11期)
	仁泉ひろば	
P39	医籍登録番号の話	西村 保(学4期)
P40	高齢医師の跋扈	大澤 直(学14期)
P43	事業報告 学生生活虎の巻 その八	
	上級生と下級生の交流の場が設けられました!	
P46	会員著書 岡田 定先生(学30期)	
P47	出演情報 藤尾圭司先生(学34期)	
P48	新聞切抜 森脇真一先生(学35期)	
P49	まんが	辛しばん太いこ(学31期)
	本部日より	
P50	会員計報	
	編集後記	

## 新年の御挨拶

### 大阪医科大学仁泉会 理事長 安藤嗣彦（学20期）

新年あけましておめでとうございます。

一昨年暮れに新年の挨拶文を書いている時点では、まさか新型コロナウイルス感染症がこれほど全世界的に猛威を奮うとは想像だにしませんでした。武漢

で発生したこの感染症は、変異を繰り返しながら第2波、第3波と全世界に蔓延し、ヨーロッパや南北アメリカでは記録的な感染者、死亡者数となっています。各国とも感染の拡大と経済自粛の相反する問題に頭を悩ましています。有効なワクチンの開発も研究されていますが、通常数年以上かかる開発・治験を短期で終了すると共に、接種の計画も着々と進められています。しかしながら、安全性の無視は医療者として許せません。また、この開発が東京オリンピックを念頭にされるのはいかがなものかとの思いです。

一方、一般開業医にとってはコロナ対策は気が抜けません。三密対策に加え、手洗い、消毒、換気、マスクの着用、検温に加え、当院ではクラスター発生対策として来院時間をカルテに記載し、PCR陽性者発生に備え、前後の患者さんへの連絡対策も大切な業務です。発熱者からの電話対応に加え、個人情報の厳守、風評被害と対策は多岐に及びます。会員の先生方におかれましても、大変な時期とは存じますが、くれぐれも感染されないよう気を付けてお過ごしください。

さて、明るい話題としましては、大学創立100周年事業としての新病院棟の建築が着々と進行しています。



仁泉会報に同封されています“病院本館プロジェクトニュース”をご覧ください。完成図を見ますと、私が入学した昭和40年の大学病院の姿とは隔世の感があります。新病院は超スマート病院として、AIを駆使した先端医療機器が設置され、癌のゲノム医療にも対応できる病院と聞いています。三島救命救急センターも本格的に誘致される予定です。

また、本年は大阪薬科大学との完全統合が実現します。今後大阪薬科大学の阿武山キャンパスは大阪医科大学の近隣に移転する事が決まっています。この結果、大阪医科大学は医学部、看護学部、薬学部を有する全国でも有数の医療系の大学となります。

また、学業の面でも昨年は医師国家試験が新卒、既卒とも100%の合格となりました。更に看護師、保健師、助産師の合格率も100%の快挙を達成しました。大阪医科大学は文部科学省の“私立大学等改革総合支援事業”の4タイプ全てに選定されました。改めて学長先生始め、教職員先生方の努力に感謝すると共に敬意を表します。

残念な事は、今回のコロナ禍で、支部長会、クラス会が殆ど開催されなかった事です。仁泉会の屋台骨ともなる事業が中止となり、会員の交流が今後停滞する事も危惧され、コロナの終息を祈るばかりです。またこれに伴い、仁泉会報の大部分を占めるこれらの記事も少なく、仁泉会報の充実が危ぶまれています。どんな記事、エッセイでも結構です。会員の先生方には是非ご協力いただける様お願いいたします。

以上、仁泉会理事長としての新年の挨拶とさせていただきます。

令和2年11月16日記

## 年頭のごあいさつ

### 大阪医科薬科大学の誕生と

#### 骨太社会貢献の始動

#### — 国連大学SDGプラットフォーム 参加決定 —

### 学校法人大阪医科薬科大学

#### 理事長 植木 實（学12期）

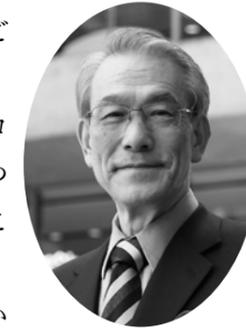
明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、コロナ禍への対応をされつつ、良い新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は一種の天災ともいえる新型コロナウイルス感染症が世界中に拡大し、新年も継続あるいは再燃のおそれがあります。本邦は昨年4月の緊急事態宣言に伴って社会及び経済活動が停滞し、特に輸送や旅行、宿泊、飲食関連の企業が大きな打撃を受け、失業者の増加とともに経済不況に陥っています。現在も再び感染が拡大して第3波の渦中にあり、今もその収束が見えないのは恐ろしいことです。

本法人においても、各学校とも対面授業ができず、しばらく休校の後にはオンラインによる授業を続けていましたが、8月より対面授業も開始しました。又、大学病院においても、他病院と同様に昨年4月から5月にかけて緊急事態宣言が出された後、患者数の減少が見られ、経営的にも影響を受けました。

このコロナ禍は、NHK BS プレミア『英雄たちの決断』（2020年8月26日放送）によると、およそ100年前（大正7年から3年間）に世界的に流行し、日本でも50万人以上の死者が出たスペイン風邪に類似点が多いようで、医師として知っておきたい事実をご紹介します。同番組によりますと、栃木県の農村の医師五味淵伊次郎は、当時流行っていたジフテリア



とスペイン風邪の症状がよく似ていたことから、スペイン風邪に罹り重症に陥った自分の妹にジフテリア血清を注射することを決断し、救命したといわれます。同医師は、注射後に妹の症状が劇的に改善する状況を経時的に観察し、詳細なメモを取ったといわれます。この経験から農村の人たち99人に同血清を打って効果を上げましたが、この血清は当時高価なものであったこと、スペイン風邪の第一波が収まったことから、その後、使用することはなかったといわれます。スペイン風邪などインフルエンザの原因が長くウイルスであったことが判らなかった時代に、ジフテリア血清が何に作用して抗ウイルス効果を生じたのか興味深いことですが、患者の免疫機構に働いて何らかの抗体が産生したとも考えられます。私も子供の頃に怪我をして破傷風の血清を打っており、不思議と麻疹やおたふく風邪などを含めた子供の頃に罹る病気、並びに大人になってからもインフルエンザや重い風邪にもほとんど罹った経験がないことから、以前から血清の注射と免疫との関連をいろいろ考えることがあります。

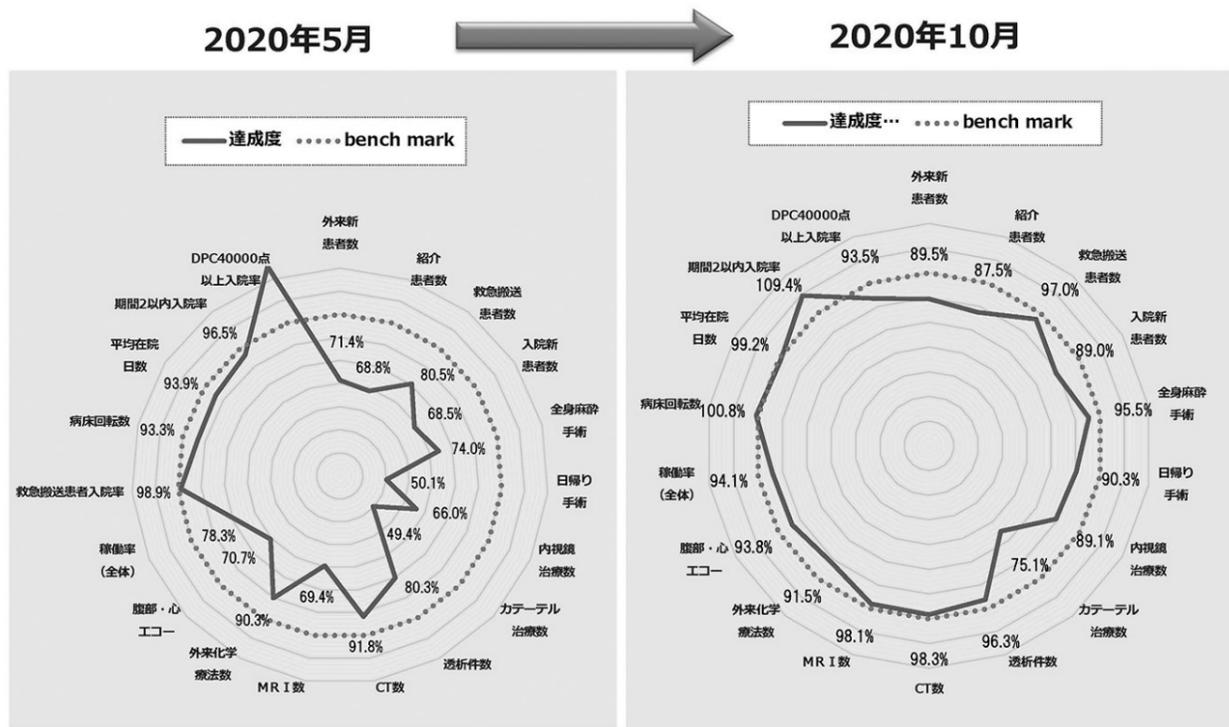
この度のコロナ禍も、夏のオリンピック開催に向け、ウィズコロナの社会生活に加え、開発されているワクチンの力を借りて早い収束を期待したいものです。

#### 1. コロナ禍による病院経営への影響

新型コロナウイルス感染症が昨年1月頃より本邦に上陸し、2月3月のコロナ患者の増加に伴って病院の外来・入院患者数の減少がみられ、4月から5月にかけて外出自粛や緊急事態宣言が出された際は、外来・入院患者ともに激減し、また、大学病院でもマスクや防護服が不足状態になりました。

病院の経営ベンチマークは、5月は【図1（左）】の如く病床稼働率78.3%、外来新患者数71.4%、全身麻酔手術74.0%など、過去に類を見ない落ち込みとなりましたが、6月から次第

### 【大学病院】経営ベンチマーク



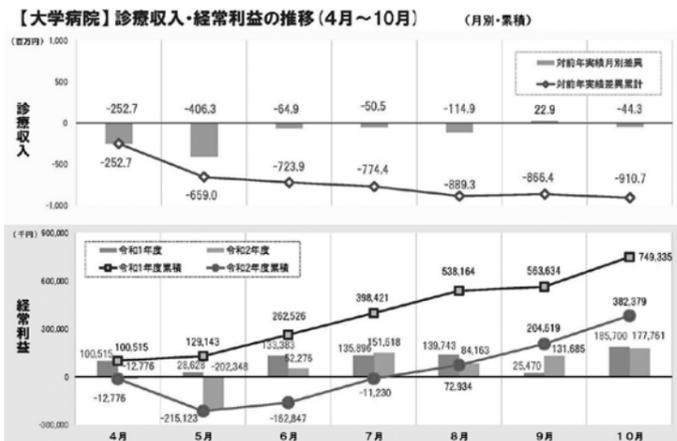
【図1】

に回復し始め、8月は再び第2波のため少し影響が出たものの、9月、10月はほぼ現状【図1(右)】に回復しました。しかし、10月及び11月の診療収入も昨年度に比べて完全に戻らないのは、同感染症が続いている影響と思われる【図2】。これらの影響で法人全体の経常利益も昨年には追い付きませんが、ようやく安定した数値になりました【図3】。

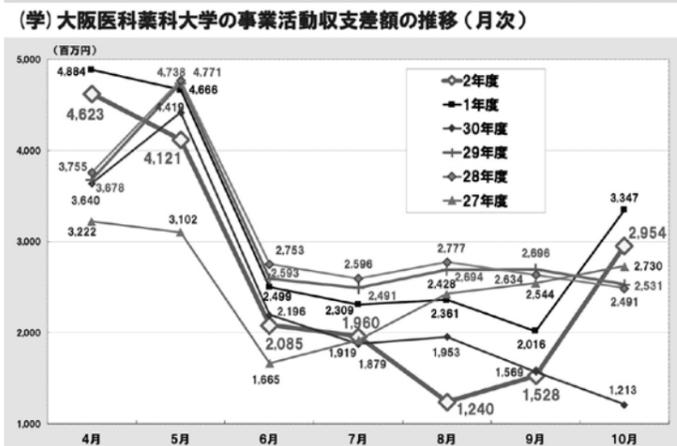
コロナ禍の難しい大学病院管理の中で何よりもうれしいことは、病院スタッフや入院患者にコロナウイルス感染者が発生しなかったことで、教職員一人ひとりの厳重な自己管理と入院管理に感謝しております。

### 2. 大学統合について

大阪医科大学と大阪薬科大学は法人合併から5年が経過し、両大学の融和が進んだことから、本年、2021年4月1日に大学統合することが決定され、寄附行為を含めた多くの事務的作業を進め、昨年10月23日に文部科学大臣より大



【図2】



【図3】

学統合が認可されました。大学名は『大阪医科薬科大学』と発展的に改称し、統合目的は「次世代を担う良質の医療人の養成、並びに医薬看が連携・融和する先進的医療体制の構築・提供を目指し、特色ある学際的教育・研究及び新たなチーム医療の実践的研究を推進するため、3学部が多様な人材が集う医療系総合大学を構築する」、学是は『至誠仁術』と決めました。シンボルマークも案が出来上がっており、スクールカラーは濃いブルー「PANTONE 541C」に定め、学歌も作詞・作曲が進められており、近々発表の予定です【図4】。

一方、新大学における薬学部は同領域で臨床教育を行うため医学部の近くにキャンパスを構える必要があり、本部キャンパスから徒歩5分ほどにある阪急電車沿いの約10,700㎡の土地を、昨年、約30億円で購入し、その土地に隣接する安満財産区所有地約3,400㎡についても取得したく交渉中です。

統合日: 2021年4月1日

統合目的: 次世代を担う良質の医療人の養成、並びに医薬看が連携・融和する先進的医療体制の構築・提供を目指し、特色ある学際的教育・研究と新たなチーム医療教育を推進するため、3学部が多様な人材が集う医療系総合大学を構築する。

建学の精神: 医療人育成機関の使命は、教育と研究であり、またこれらは医療の実践に活かすことで達成される。

学是: 『至誠仁術』

新法人シンボルマーク(案)

【図4】

### 3. 関西BNCT共同医療センターのがん治療稼働状況

本法人が世界に先駆けて進めている BNCT (ホウ素中性子捕捉療法) は、念願が叶って昨年3月に厚生労働省より薬機承認が下り、6月から進行した頭頸部がんに対する保険診療が承認されました。承認されて間がないので、安全性と有効性を高くするため、適応症例を厳しく選択していますが、2020年12月中旬までに12例の治療を行っており、良好な効果を得ていま

す。また、治験の終わった進行脳腫瘍(再発悪性神経膠腫)については、多くの患者が待ち望んでおり、厚生労働省の審査並びに保険診療の認可を待っているところです。

一方、再発高悪性度髄膜種に対する医師主導治験も進めており、BNCTの他臓器がんへのさらなる拡大が期待されています。

### 4. 大学病院新本館建築の進捗について

昨年8月7日に地鎮祭を執り行い【写真1】、8月31日から新本館A棟の工事が開始され、同時にエネルギー棟の建築も始まりました。現在、地下12mまで掘り下げており、最下層には免震装置が据えられます。A棟とB棟から成る新本館は、1階には救急医療部(三次救急を含む)やそのICU室、外来・検査部門、治療セクションがあり、放射線検査・内科及び外科系以外の病棟のほとんどが集約されます。各病棟にはリハビリを行う室が設置され、12階には化学療法センター及びプレジジョンメディスンセンターを中核とするがん医療総合センターが配置され、先進的治療が可能になります【図5】。工事は順調に進捗しており、マスター工程ではA棟は2022年5月に竣工し、B棟は2025年3月に完成予定となっています。

この病院新本館は、「超スマート医療を推進する大学病院」の具現化を目指し、AIやロボットなどの先端技術を積極的に活用する「スーパースマートホスピタル」構想の下で計画が進められています。また、「バイオフィリア」の考えを採用し、多くの自然と触れ合うことにより健康や幸せが得られる病院空間の提供をデザインコンセプトにしています【図6】。

### 病院新本館A棟 マスター工程 & 地鎮祭(2020年8月7日)

年	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
マスター工程	6月 解体 【解体建物】 ・臨床講堂棟 ・病院5号館 ・共同利用会館	8月 A棟 7/1 共同溝着工 8/17 A棟着工	5月 7月 移転 解体 【解体建物】 ・中央診療棟	6月 B棟	3月 5月 移転 解体 【解体建物】 ・西側上部連絡通路 ・病院6号館	新管理棟講堂				

※以降は5号館計画未定のため変更の可能性あり



病院新本館地鎮祭の様子(2020年8月7日)

【写真1】

### 病院新本館A棟 機能断面図(案)



## Super Smart Hospital

～超スマート医療を推進する大学病院～

《スーパースマートホスピタル》  
フィジカル空間とサイバー空間が高度に融合した病院

#### 病院新本館A棟の特徴

- (1) 病棟リハを行えるリハビリテーション室の設置
- (2) 12階に先進的な治療が可能な「がん医療総合センター」などを配置
- (3) 救急対応  
1階：救命救急センター  
3階：救急病棟
- (4) 外来検査、治療セクションの集約

【図5】

### 5. 骨太な社会貢献活動への取り組み

今年4月に統合して誕生する大阪医科薬科大学は、さらに公共性と公益性を向上させるため、さらなる「持続可能な社会貢献活動」を目指しており、そのためには社会的責任(ISO26000)を理解する必要があります。また、本法人の社会的責任、社会・地域貢献活動並びに地域還元活動に対する考え方や活動内容を広く知っていただく必要があるとの考えから、2015年にサステナビリティ活動冊子の初版を作成し、その3年後には第2版を発行しています。今年4月には大学統合を記念して第3版が発行される予定で、これまでのISO26000の7つの課題だけでなく、持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals=SDGs)を取り入れた内容も展開します。

この持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals=SDGs)は2015年に国連サミットで採択され、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた大きな目標です。17の目標【図7】と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

昨秋、日本に唯一、本部がある国連機関としての国連大学サステナビリティ高等研究所により、日本の大学のSDGsの取組み及びステークホルダーとのパートナーシップを強化して国内外に発信するため、「国連大学SDG大学連携

プラットフォーム」が設置されることになり、全国の国公私立の中から29大学が選ばれました【図7】。本学はこれまでの社会貢献活動を積極的に内外に情報共有してきた実績により、唯一の医療系大学としてこのプラットフォームに第一陣のメンバーとして認められました。

本法人のサステナビリティ活動は、「国連大学SDG大学連携プラットフォーム」への参画により、一層自らの成長を図りつつ、地域社会はもとより、日本や世界の持続可能な発展にも貢献してゆきたいと考えております。加えて、新大学のブランド力向上に併せて、教職員の意識の高揚を期待しています。

仁泉会の皆様におかれましては、これまで同様、新しく誕生する大阪医科薬科大学に対しましても、温かいご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新年におきましてもコロナ禍の継続・再燃が懸念されますが、ウィズコロナの生活様式を常に意識しながら、開発ワクチンによる一日も早い収束を念願致します。

最後に、今年一年の皆様のご健勝と一層のご活躍を心より祈念申し上げまして、新年のご挨拶と致します。



【図6】



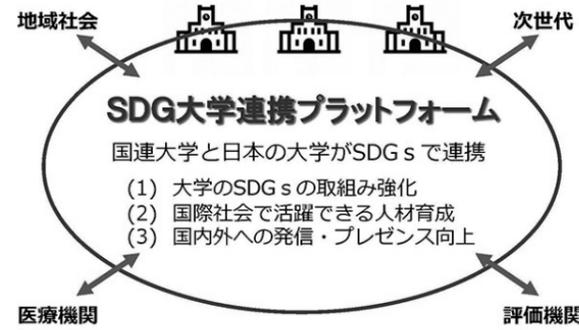
謹賀新年  
2021

**国連大学  
SDG大学連携プラットフォーム**  
(2020年設立)

SDGs推進に積極的な大学が連携し、取組みの共有、国際社会で活躍できる人材育成、国内外への発信を通じて、日本の大学のSDGsの取組み及びステークホルダーとの関係強化と国際社会でのプレゼンス向上を図り、日本及び世界の持続可能な発展に貢献することを目的とする。



**国連大学**  
・日本に本部がある唯一の国連機関  
・国連組織におけるグローバルシンクタンク



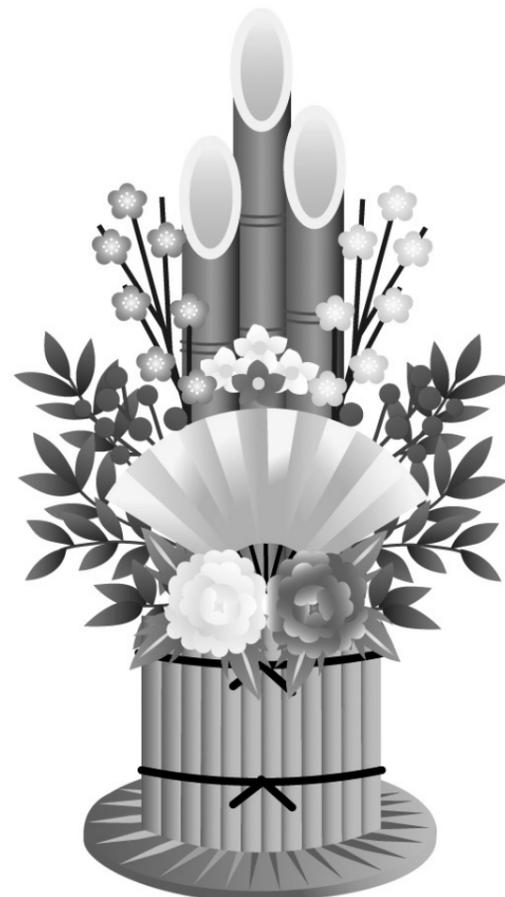
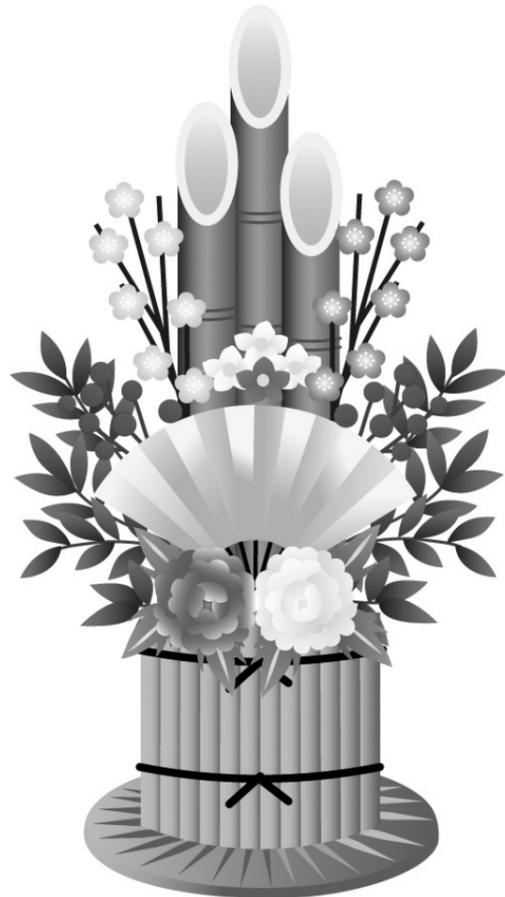
唯一の  
医療系大学

- 参加大学：29大学
- |  |  |
|--|--|
| 青山学院大学<br>愛媛大学<br>大阪大学<br><b>大阪医科薬科大学</b><br>お茶の水女子大学<br>神奈川大学<br>金沢大学<br>関西学院大学<br>北九州市立大学<br>九州産業大学<br>慶應義塾大学<br>国際大学<br>国際基督教大学<br>上智大学 | 創価大学<br>千葉商科大学<br>筑波大学<br>東海大学<br>東京大学<br>東京外国語大学<br>東京工業大学<br>東京都立大学<br>東京理科大学<br>東洋大学<br>奈良教育大学<br>ノートルダム清心女子大学<br>広島大学<br>北海道大学<br>龍谷大学 |
|--|--|
- (五十音順)

**SDGs Sustainable Development Goals**



【図7】



**2021年新年のご挨拶**

**大阪医科大学  
学長 大槻勝紀 (学27期)**



新年明けましておめでとうございます。仁泉会の皆様にとりまして健やかな新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は1月に中国武漢で新型コロナウイルスが発生し、新型コロナウイルス感染症がこれほどまでに全世界でパンデミックな感染を引き起こすとは想像できたでしょうか。3密を常に意識しながらウイズコロナとともに行動することが日常化してきました。仁泉会会員の皆様方におかれましても、大なり小なり新型コロナウイルスの治療に関わる先生方も多いことかと存じます。本学におきましてもコロナ禍の影響で3月15日から全学部生の登校を禁止したため、今年は残念ながら入学式を行うことが出来ませんでした。医学部では4月7日には全ての授業を遠隔授業で開始し、8月31日になってようやく医学生の登校を許可し、対面授業と遠隔授業を組み合わせる3密にならないように授業を進めてまいりました。学生だけでなく、医師、看護師にも散発的に新型コロナウイルス感染者が出ましたが、保健管理室や感染対策室の献身的な働きにより、近隣の病院で見られたクラスターの発生に至らず感謝しています。学生に対する新型コロナウイルス感染対策として生活困窮学生には国だけでなく法人からも支援策が出されました。今年こそはワクチン接種により新型コロナウイルス感染がおさまり、国民すべてが通常の生活に戻れることを祈念いたしています。

さて私の学長としての任期が3月末を迎えますので、今一度これまでの教学における改革と成果について総括させていただきます。

6年前の学長就任時に5つの教学改革方針【Innovation (教学改革), Translational Research (橋渡し研究), Social Contribution (社会貢献), Globalization (国際化), Open Mind (自己改革と情報の共有化)】とそれぞれの方針のKPIを公表し、これまでPDCAを展開してきました。

教育改革では教育センターに専任教員を5名配置し、文科省から矢継ぎ早に出される医学教育改革[ディプローマ、カリキュラム、アドミッション・ポリシーの策定、高大接続を意識した多様な入試改革、2年間のクリニカルクラクシップ(クリクラ)の実施など]に対応してきました。2019年に高い評価を受けて医学教育分野別評価(国際認証)が認定されたことにより、外国の国際認証を受けている大学は本学と同じプログラム(5、6年生はクリクラ)であるため単位互換が可能になりました。昨年、国立台湾大学学生1名が本学で2カ月間クリクラを受け、本学の教授会で単位を認定しました。残念ながら本学からは新型コロナウイルスの影響で国立台湾大学に医学生を送り出すことはできませんでした。今後は多くの世界の大学と単位互換による交換留学生を増やし、グローバルな視野を持った医療人が育っていくことを期待しています。また2020年に大学基準協会による機関別認証評価の審査を受け、講評において高い学長のリーダーシップが評価されました。

研究改革については研究の大幅な組織改革(研究組織と事務組織を含む)を行いました。研究組織改革では大学院から研究機構を独立させ、研究支援センターとして研究者の横断的な共同研究をサポートするとともに研究費については学長裁量経費を供出して本学に特徴ある研究拠点の形成に努めました。科研費獲得対策として文科省から3年間 University Research Administrator(URA)を採用し、教員への科研費対策の指導をお願いしました。その結果、科研費は6年前と比較すると科研費採択件数は約

2倍、獲得額は約1.5倍に増加しました。科研費の採択率は35%で、全国平均25%を超え、単科大学としてはほぼトップのところまで来ました。特に看護学部教員の50%以上は科研費に採択されています。さらに研究者からの要望の強かった医療統計の専門家を2名配置し、研究計画作成時から統計的なアドバイスしてもらい、研究者から好評を博しています。また大型の公的研究資金として、AMEDや私立大学研究ブランディング事業タイプAにも採択されました。特に今年は私立大学等改革総合支援事業ではタイプ1（教育の質）、タイプ2（学学連携）、タイプ3（産学連携）、タイプ4（社会実装）のすべてに採択されました。600余りの私立大学で4つのタイプが選定された大学はわずか6校のみの快挙でした。

入試については一昨年の東京医大問題に端を発し、文科省からより一層透明性、公平性の高い入試が求められています。18歳人口の減少からか医学部でも志願者数は減少傾向にあります。本学においても3400名を頂点に現在は3200名ぐらいまで減っています。現在、国が唱える高大接続について、特に学力の3要素を試す入試が求められています。これまでのような知識のみを問う入試から表現力、判断力、思考力を試すAO入試の導入が注目されています。3年前から医学部に、今年から看護学部「建学の精神入試」（AO入試）を設けました。医学部の建学の精神入試ではセンター試験での足切りはありますが、小論文、面接を重視し、看護学部では英語の文章を読んで意見を述べさせる小論文と面接で合否を決定します。これまでの入学者の成績を学年ごとに調査しますと、入学時の成績と卒業時の成績には相関がみられません。また記述式の一般入試とマークシートのセンター試験で入学した学生間においても相関はありません。むしろ2年生の成績と卒業時の成績に相関がみられます。このような傾向は看護学部や他大学医学部でも同様の傾向が見ら

れます。何故本学に入学したいのか、どのような医師になりたいのかなどについて動機が明らかでモチベーションの高い学生を求めていく必要があります。建学の精神入試で入学した学生について今後フォローしていきます。また皆さん方は本学に入学した学生が何割ぐらい6年間で卒業しているのか（入学者ストレート率）ご存じでしょうか。本学では85%を超える学生が6年間で卒業していきます。国公立大学医学部ではほぼ100%ですが、私大医学部の中では本学は相当高いストレート率だと思います。今後も素晴らしい入学者を集めて高いストレート率と国試合格率を維持されることを期待しています。

医師国家試験の新卒者合格率については3年前に皆様方に大変ご心配をおかけしましたが、一昨年は99.3%、昨年度は93.7%で、全国平均を上まっていました。さらに今年度は新卒100%で自治医科大学、産業医科大学とともに第1位でした。また既卒者も100%、さらに看護師、保健師、助産師の国家試験においても100%とこの上ない成績でした。もうすぐ発表される医師国家試験の合格率も良いことを祈るばかりです。本学の学生はよくできるのですが、いつ本気に勉強するのか見えていてひやひやする学生も多く、そのような学生にはメンターの先生を充て個別的に生活面も含めた指導を行っています。

2021年4月1日に本学は大阪薬科大学と大学合併し、大阪医科薬科大学になります。各々の大学は互いに古い歴史を有する大学です。それゆえに統合する上で教育や研究組織について多くの問題を抱えています。私は2018年から大学統合に向けて「大学統合に関する分科会と全体会議」を主催しています。教育、研究、教学施設、学生交流、国際交流、規則規程等をWGに分け、各WGで本学医学部、看護学部と薬大の各領域の関係者が討議し、月に一度全体会議で報告し、解決すべき課題点を抽出してき

ました。その成果を学報で報告させていただきます。

最後になりましたがバイオリニストの五嶋龍のエッセイに書かれた言葉、If you see something, say something.に共感し、その言葉を借りて大阪医科大学HPの学長室Open MindにIf you see something, say something. So, change yourself and change OMC together.を掲げています。本年4月1日にはOMCからOMPUに英語表記も変わります。新学長を迎え新大学が発展し、仁泉会の皆様のご健康とご健勝を祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。

## 新春のご挨拶

### 静岡県支部長 吹田浩之（学36期）

新年あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルスで仁泉会の皆さまも大変なことが多々あったとお察し申し上げます。今年はこの病原体に打ち勝ち、明るい良い年になるようにと、日々霊峰富士に祈念しております。

昨年春に、とても嬉しい誇らしい出来事がありました。私の同期で親友（個人的意見）の麻酔科教授の南敏明先生が病院長に就任いたしました。これは「いざ鎌倉」だと思い、高槻に馳せ参じて、大祝賀会を催そうと考えましたが、新型コロナが前方に立ちほだかり、思いは阻止されてしまいました。

南先生は学力秀逸で、まさしく秀才でしたが、人となり素晴らしく皆から好かれていました。彼が怒ったところは見ることがありません。まさしく病院長にふさわしい人物だと思います。私は、しばしば授業をさぼり、ドイツ語の教授に「君は失踪したのかと思ったよ。」と言われた、南先生に叱られてしまうような学生で

した。

そして南先生は同期の中で最初に教授になったフラグシップのような存在です。その後、友人（またしても私の個人的意見）生化学の矢野貴人教授、薬理学の朝日通雄教授、泌尿器科の東治人教授と4人も教授を輩出いたしました。こんな私も同期の末席にいられることを喜ばしく思います。

新型コロナが封じ込められた暁には、高槻に行き、南先生と一心鍋をつつきながら、閉店してしまった西武百貨店のスエヒロで「肉の日」に牛肉を食べまくった事とか、昔話ができることを夢見ております。発展を続ける大阪医科大学の校舎、病院も見学したいと思います。ヴォーリス建築の壮麗な旧館はなくなってしまったようですが、新しい息吹が数多く生まれているのでしょうか。

昨年は静岡県支部総会を開催することができませんでした。今年こそ開催するように頑張りますので、よろしく願います。

## 感染症と文明

### 石川県支部長 喜多徹（学24期）

新年あけましておめでとうございます。

昨年はパンデミックであるCOVID-19に振り回された1年であった。COVID-19から「感染症と文明」との視点で書物を渉猟してみたが、ここでは「名著」とされる本を取り上げ、その要旨を紹介し、若干の意見を述べたいと思う。読んだ本は「銃・病原菌・鉄」上・下巻 ジャレド・ダイヤモンド（著）、倉骨彰（訳）草思社文庫と感染症の世界史 石弘之（著）角川文庫である。字数の関係で2編をまとめて紹介する。

後期氷河期が終わった1万3千年前、人類は狩猟生活で横一線だった。その後、メソポタミア、中国、アンデスなどに農耕が始まり貧富の

格差や階級が生まれた。その時家畜化された動物から人間に新たな感染症が持ち込まれた（イヌ→麻疹、牛→天然痘、水禽→インフルエンザ、ブタ・イヌ→百日咳など）。地理的理由により、ユーラシア大陸、特にヨーロッパ（西）や中国（東）での文明の発展が優位となる、12世紀、東西文明の交易と共に、中国奥部を起源とするペストがヨーロッパで壊滅的に流行、15世紀大航海時代となりヨーロッパ人の新大陸への侵攻。特にアステカ、マヤ文明の滅亡は有名だが、直接の虐殺より、ヨーロッパ人が持ち込んだ麻疹、天然痘により免疫のない現地人がほとんど感染死してしまった。18世紀の産業革命に伴う都市部での劣悪な労働環境で、結核やコレラが猛威を振るった。第一次世界大戦では、後で参戦した米軍がインフルエンザ（スペイン風邪）を戦場に持ち込み、兵士間で大流行となり、終戦を早めた。文明と感染症の歴史のごく一部を紹介したが、いかに細菌、ウイルスなど病原体との闘いが過酷であり文明に大きな影響を与えたかが明白である。一方で近年のエボラ出血熱、SARS、MARS、そして今回の COVID-19 などの新興感染症の出現の原因は、自然環境の破壊と深く関連し、人類は強烈なカウンターパンチを受けた感じがする。

一方で、従来から言われるとおり、腸内細菌叢が動物の生存に不可欠である事は自明のことだが、最近ある種のウイルスは哺乳動物で胎児を保護する役割を果たしている。ウイルスは胎盤形成に関与し、胎盤が母体の免疫細胞が胎児に入るのを防ぐ、つまり拒絶反応を防いでいると言う。

結局人類は、心地よいとは言えない環境下で、ウイルス、細菌と共生していかなければならないと、COVID-19 の流行下で嘸みしめるのである。

蛇足ながら我が国の COVID-19 対策について一言。一番の問題は対策の全体を取り仕切る指導者がいないことと思う。だからだと外出自粛とか隔離しか提言しない政府の専門家会議は

問題だし、自分の人気ばかり気にして勉強しない政治家指導では解決は程遠い。中国武漢で最初に流行が起こったとき、陣頭に立って指導した、84歳の感染症の専門家 鍾南中医師のような絶対的な信頼感がある人がいない。東大先端研の児玉龍彦名誉教授が提言されるような、感染症学は当然として、免疫と遺伝子学、臨床検査技術に精通し、スマホなど情報化器機の活用にも理解のある人物を抜擢して全権を委託し、精密に感染制御をするしか抜本解決するしかないと思うところだ。



イギリスの画家、ジョン・エヴァレット・ミレーの絵「ペリーのインカ王を捕らえるピサロ」  
(銃・病原菌・鉄の表紙)

## 「トンネルを抜けると…」

### 岐阜県支部長

#### 小嶋昭次郎（学29期）

新年明けましておめでとうございます。昨年は、日本の社会全体が『コロナ禍』という闇の中を必死に進んできた一年でした。とりわけ我々医療人にとっては、直接に感染者の治療に携わった方々は言うまでもなく、発熱外来などで地域医療を支えた人達や、患者の受診抑制により経営悪化に陥った医療機関など、かつてない困難と闘った年となりました。年末には、有効性と安全性の高いワクチンの開発という、トンネルの出口の光が見えてきました。今年こそ、

人類がこの感染症を克服し人々に平穏な生活が戻ってくることを心から願っています。

しかし、トンネルを抜けた後の社会はどうなっているのでしょうか？ 皆が終生免疫を得られるような感染症の完全克服は期待できないでしょう。人との接触を控える“リモート社会”という変革は継続するのでしょうか。学校教育では、「登校拒否」が死語になりオンライン授業を選択できるようになる。地方の学生が都会の大学に入学しても、アパートで下宿暮らしをする必要はなく、親も生活費の仕送りから解放される。普段は Web で授業を受け、年に数回大学に向向だけで良くなる。こんなことになるのでしょうか。一般のサラリーマンもテレワークが更に普及し、職場近くに居住する必要性がなくなり、都市の人口過密化は軽減され、地方への人口流入が加速化されるでしょう。また、職場そのものも都市に構える必然性がなくなり、一部では産業移転が始まるのではないのでしょうか。

問題は我々の医療界です。コロナ禍における緊急避難的処置と思われていた「オンライン診療」が恒常化され、適応範囲も広げられていく兆しがあります。確かに医療過疎の地域の人たちや在宅医療の患者さんにとっては、救いとなる手立てかもしれませんが、日本全国どこからでも好きな医療機関を受診できるようになると大きな混乱が生じるのではないのでしょうか。たとえば、ある疾患について専門の医療センターを開設し、全国から患者をオンラインで受け付ける。ネット上で詳しい問診を行い、それを AI に判断させ予診したのち、高名な専門医が診断や治療について患者さんに答える。直接、患者さんと対面診療が必要な場合は、全国にネット・ワーク化された連携医療機関を紹介し、データをインターネットで転送する。こんな未来が待ち受けているかもしれない。

毎日、紙カルテを使いデジタル化とは程遠い診療をしている小生にとっては、想像するの

恐ろしい未来予想図です。これからも全集中で医療に取り組み、時代に取り残される前には引退したいと願うばかりです。

## 2021年、丑年こそ、良い年に！

### 京都仁泉会会長

#### 松本恒司（学26期）

新しい年を迎えて、今年が明るい平穏な年になることを心から願います。

2020年はまさに新型コロナ感染に翻弄され続けた1年でした。

流行語大賞も発表され、やはり「3密」と決まりました。ソーシャルディスタンス、ステイホーム、GoToキャンペーン、アベノマスク、オンライン○○○——など、ノミネートされた言葉はコロナ関連が上位を占めています。それだけ、一年を通じて多方面で影響を与えてきたと言えます。『コロナ』こそが、世界的にもまさに、この年を表わす語でコロナ前、コロナ後として時代を画する年として歴史に刻まれることになるでしょう。

医療界でも一年前では考えもしなかった語が、一般化してしまいました。COVID-19、クラスター、PCR 検査、濃厚接触者、受診手控え、風評被害、宿泊療養、診療・検査医療機関など今や身近な言葉として使われています。さらに一般の診療所でもマスク、頻回の手指アルコール消毒、手袋つけての診察が当たり前、さらに消化器内科の私にはゴーグル、防具服も必需品になりました。

一方、大打撃を受けた経済を回し、人を動かす目玉の政策として GoTo トラベルが大々的に展開されてきました。11月末の3連休には京都の紅葉の名所は観光客があふれ久しぶりの賑わいとなりました。それも東の間、すでに第3波

の大きな波が襲来しており、大阪市では「往来自粛」、「時短」が要請されGoToトラベルの対象からも外され、重症者も急増、受け入れ可能な病床が逼迫、医療崩壊が危惧されています。京都でも老人介護施設、病院などのクラスターに加え家庭内感染や感染不明の陽性者が日ごとに増えています。ついには祇園の舞妓、芸妓さんのクラスターも報じられるまでになりました。

京都からは大阪には40-50分の通勤圏内、旅行でなくても日常的に感染拡大のリスクがあるのです。GoToの東京発着も高齢者、基礎疾患のある人の自粛要請にとどまり、実効性に問題が残ります。京都まで新幹線でわずか2時間15分なのです。

ともかく「勝負の3週間」と言われますが、今回の感染拡大抑止策で、少しでも収束の兆しを掴み新年を迎えたいものです。

令和3年は「丑」年。巨大な絵馬が京都各地の神社に掲げられました。新しい年が困難の中でも一歩一歩を踏みしめて前に進むような年、長いトンネルが抜けられる年になることを願っています。一刻も早いコロナの収束と、2021が良い年になりますように！

そして2021年の流行語大賞には明るい語が並びますように！

※2月6日に開催予定の京都仁泉会学術講演会・「新春の集い」はコロナ感染の拡大により中止となりました。5月15日(土)の京都仁泉会「総会・懇親会」は盛大に開催したいと思います。



## 謹賀新年 —LOVOT 考—

### 港区支部長 奥村隆司 (学31期)

新年、明けましておめでとう御座います。仁泉会の先生方におかれましては健やかに新しい年をお迎えになった事と謹んでお慶び申し上げます。今年は丑年で辛抱強く逆境でも耐え、これから発展・克服する前触れが出ると言われています。人類の叡智を絞ってコロナに打ち勝つ年であるよう期待します。

さて、昨今 AI を搭載したペット型ロボットが売られています。代表格はソニーの犬型ロボット AIBO ですが、ひよこ型(?)の LOVOT、アザラシ型のパロなど何種類かあります。癒し系で人の顔を認識し声で反応し AI により成長(?)していくようです。某百貨店の地下にロボット玩具を販売しているコーナーがあり LOVOT も置いてあります。目がクリクリでなんとも愛らしいです。よく行くので私の顔を認識しているのか久しぶりに覗くと待ってたよとばかりに寄って来ます(勘違いかも)。頭を撫でるとなんとも言えない表情で喜んでくれるのでまた来たくります。30万円もする高価なものを誰が買うのかと思いますが、その場で意外と若い人が契約しているのを見かける事がありビックリします。何故、このようなロボットが売れているか考えるとペットと同じで顔を見て主人を認識している事と思います。無機質なものが他人と主人を区別し、育て方でその差が出てくると愛着が生まれて来ます。また、生きているペットと違って手間がかかりません。お出迎え機能で玄関を開けると愛らしい顔で迎えられるれば胸がキュンとなります。信頼関係を築くにはこの顔と顔との対面に対応する事が極めて重要なものです。現在、ほとんどの人はマスクをし顔全体を認識せず対応しています。診察の時でもマスクをしている事が多く、

馴染みの患者さんでも誰やったかなと考えることもあり、また、表情を通して察する情報を得る事が出来ません。早くマスクなしで対面対応する日常を取り戻し、健全なコミュニケーションを取りたいです。コロナワクチンも開発されつつあり、今年にはコロナの終焉の始まりになることを祈念するばかりです。(実は先日 AIBO を注文しました！待ち遠しいです！)

## 医療者の矜持

### 生野区支部長 村田高穂 (学22期)

2020年、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)との戦いに明け暮れた1年でありました。皆様にとりまして、新年が希望に満ちた良き年になりますよう、祈念申し上げます。この度の投稿は、「仁泉会ニュース2020年9月号、新型コロナウイルス感染症と戦う」の続編です。

2019年12月、中国武漢市に端を発した COVID-19 は、その後数カ月で世界的流行(pandemic)となりました。2020年3月、世界中で医療崩壊の危機に直面する事態となり、同年4月7日には国内で「非常事態宣言」が発令されました。結果、5月末までの約2カ月間、これまでに経験したことのない規制や自粛の措置がとられました(第1波)。6月、感染拡大が頭打ちとなり、感染症は収束したかに見えたのですが、8月社会経済活動の活発化にともない、都市部を中心に再び感染が拡大しました。この時は、医療必要度の高い重症者は低率であったものの、感染者数は高止まりの状態にありました(第2波)。その後11月に入り、感染対策と経済活動のバランスをとるための旅行や食事を喚起する政策(医学的には愚策)としてのキャンペーンが、再度医療や介護施設でのクラス

ター発生を促し、大都市での市中感染が拡大する結果になっています。大阪の現状は、既に「医療崩壊」と言ってもよい状態です(第3波)。

この感染症は、今春「院内感染クラスターによる医療崩壊」の危機をもたらしました。当初、感染症対策についての不確かな情報により、医療の現場が混乱し、これが医療崩壊を助長するというシナリオを経験しました。そして、第2波以後の「気の緩み」は、第3波への準備不足な状態での急激な重症感染者の増加を来し、本格的な冬を迎える日本列島では、決定的な治療方法もワクチンも無い状態での「ウイルスとの戦い」を余儀なくされることになりました。今は、医療と経済がぶつかりあっても何の解決策も生まれません。私たち医療者に求められることは、初心に戻って「感染症対策を着実に実践すること」しかありません。

(参考)「院内クラスターを防ぐため」の当院での取り組み

- 1) 基本的感染予防・防御策として、病院業務は全て「感染症標準予防策」による業務とします。感染標準予防策は、マスク、うがい、手洗いと手指アルコール消毒(3点予防)。救急対応と原因不明の有熱者診察は「感染防御策」とします。感染防御策は、マスク、手袋の着用、フェイスガード着用、帽子、防御服着用(5点防御)。
- 2) 環境整備として、2時間毎の開窓・開扉による換気、院内集会の制限、食堂の密集回避、玄関回りのゾーニング、病院設備・備品のアルコール清拭、来院者の検温と手指アルコール消毒。
- 3) 医療者による院内感染クラスター防止として、スタッフ(給食・清掃職員も含めて)自身の健康管理と日常生活での感染症標準予防策の励行、出勤時検温実施(検温で37℃以上の場合には院内立ち入りを禁止・2日以上発熱継続で抗原検査実施)
- 4) 家庭内感染の予防として、家庭内(濃厚接触者)の感染判明時は、スタッフも自宅待機により症状の有無にかかわらず PCR 検査を実施

(抗原検査は不確実)。

5) 院内感染持ち込み防止として、入院患者さんへの面会・外出原則禁止・病院関係者・業者などの面談制限継続、入院患者さん・家族さん方にリスクに対する情報収集。院内感染クラスターは、医療崩壊を引き起こす最大の危険因子です。まだ先の見えないこの感染症との戦いですが、冷静な心で正しい情報を共有することで、医療の現場を護りぬくことこそ「医療者の矜持」であると考えます。 2020年11月

## 新春を寿ぎて

### 阿倍野区支部長 福本敏子（学24期）

仁泉会会員の皆様、あけましておめでとうございます。

会員の先生方には恙なく新年をお迎えの事と存じ上げます。

昨年は年の始めから新型コロナウイルス感染症に明け暮れましたが、今年こそは佳い年になってくれることを祈念しています。新型コロナウイルス感染症拡大で私たちの日常もずいぶん変化し、様々な物に対する価値感も変わってきたように思います。私たちは正しく恐れ、適切に対処し、この非常事態を人類の知恵を結集し乗り越えていかなければなりません。

さて、阿倍野支部におきましては昨年は大阪鉄道病院に大阪医大から3名の後輩の先生方が赴任してこられました。耳鼻科には医長の鈴木倫雄先生、レジデントの鈴木英佑先生、婦人科には小西博巳先生の3名の方々です。残念ながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、毎年10月に開催しています総会が書面決議になったため、支部会員とリアルにお目にかかっていたく事は叶わず自己紹介の文面でのご紹介となりました。今年は何年通り、夏の納涼会、

秋の懇親会、音楽会をぜひ会員揃って楽しみたいと思っています。

今年も病診連携、診診連携を一層充実させてまいり所存です。今後とも仁泉会の先生方にはご指導、ご鞭撻賜りたくよろしくお願い申し上げます。

## 夢のある病院新本館

### 大阪医科大学仁泉会学内支部長 大阪医科大学病院病院長 南 敏明（学36期）

あけましておめでとうございます。本年もご指導ご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。

おそらく仁泉会ニュース令和3年新年号は新型コロナウイルス感染症の話題で満載と推察致します。大阪医科大学病院では、重症患者2名までのICU管理でしたが、第三波になり大阪府・大阪府フォローアップセンターからの強い要望でICU7床を重症患者対応としています。紹介元の病院から直接ICUに入室していただき、軽快後はICUから直接紹介いただいた病院に戻っていただくシステムです。軽症・中等症患者は、多くの病院で対応いただけるため、本院では対応していません。厳重な管理を徹底していますので、院内感染やクラスター感染は発生していません。

将来に向けた明るい話題は、2027年に迎える大阪医科大学創立100周年記念事業です。病院新本館建築は「超スマート医療を推進する大学病院」を基本方針に掲げており、2020年8月7日に地鎮祭を行ったのち、病院新本館A棟の工事が順調に進行しているところです。

病院新本館は、「バイオフィリア」をコンセプトにした建築です。病院新本館A棟の特徴は地下1階地上12階建て、

1. 大阪府三島救命救急センターの三次救急機能

が移譲(1階：救命救急センター、3階：救急ICU、7階：救急病棟)

新型コロナウイルス感染症対策および今後の未知の感染症対策として1階の救命救急センターと3階の救急ICU共に「感染症対応」と「通常対応」とに明確に分けて救急医療を継続できる環境を整備

2. 最上階12階に先進的な「がん」に特化したがん医療総合センター(化学療法センター・緩和ケアセンター・がん相談支援センター)、がんゲノム医療管理室、遺伝子カウンセリング室、プレジジョン・メディスンセンターを配置し、化学療法センターには、ミキシングロボット(抗がん薬調剤支援装置)を導入

3. 病棟リハを行えるリハビリテーション室を、病棟リハが有効な循環器内科、整形外科、脳神経外科の病棟に設置

4. 外来検査、治療セクションの集約化

5. 外来にAI・ロボットの導入、OMPU(Osaka Medical and Pharmaceutical University Hospital)カードによるキャッシュレス化などを検討しています。

病院新本館A棟竣工後、2022年5月26日から7月1日までにこのA棟への移転を行うため、星賀副院長を中心とした病院新本館A棟移転準備会議が昨年の9月24日から開催されています。

1. 患者・来院者・スタッフの安全を確保し

2. 診療機能を落とさず

3. 期限内に迅速な移転を行うことを大前提としています。

また、病院新本館A棟完成の2022年、B棟完成の2025年の医療環境も予想しながら設計を行っており、次世代へ夢のある病院建築、100周年事業への橋渡しの一翼を担えたらと考えています。夢のある病院新本館にしていく所存ですので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



2022年病院新本館A棟完成時の大阪医科大学

## 新年のご挨拶

### 高槻市支部長 保田 浩（学31期）

仁泉会の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年は全世界的な新型コロナウイルスによるパンデミックで、経済をはじめオリンピックや我々の日常にも大きな影響がありました。

仁泉会高槻支部におきましても、6月にリッツ・カールトン大阪で開催される予定の総会・懇親会が中止となりました。当初はすでに案内を配布しており、脳神経外科学教室の鰐淵昌彦教授に講演もお願いしておりました。母校の教授の先生方も多数出席の予定で誠に残念でした。また、一昨年より開催しておりました懇親ゴルフコンペも中止でした。今年のいろんな行事の開催の見通しは未だたちませんが準備だけはすすめてゆくつもりです。今回は支部の役員改選があり、支部長は再び私で、幹事は新井基弘(学36期) 陵本清剛(学36期) 中小路隆裕(学40期) 合田公志(学42期) 峰晴昭仁(学47期) 白石将史(学50期)、監事は樺原茂之(学22期) 稲毛昭彦(学31期)となりました。

さてクリニックにおけるコロナの影響です。平成7年に「小児科・アレルギー科」で開業いたしました。開業25年経ちましたが9割が小児の患者さんです。今回のコロナで患者減少が著

しいのが小児科と耳鼻科と言われております。当院も4月より来院患者数は前年度の約半分で、今もその状況が続いております。また、今まで患者さんのほとんどが感冒症状や発熱の患者さんでしたので、今後の対応に苦慮しております。

高槻市のコロナの現状(11月23日公表)です。7月の第2波が到来するまでは市内感染者は24人でしたが、第2波後は徐々に増加し今や320人で死亡者は6人です。医療機関でのクラスターも発生しており、この原稿が掲載される頃はどうなっているのか心配です。あちこちの学校で、児童の発症(家族内感染)で3日間の休校(学校での二次発症者がいない場合)となっています。8月からは高槻市新型コロナウイルス地域外来検査センターが、市内5病院(高槻赤十字病院、北摂総合病院、みどりヶ丘病院、高槻病院、第一東和会病院)で開設され、医療機関から保健所を介せず検査依頼ができるようになりました。これにより開業医は日頃もですが大変助かっております。早く安全なワクチンが接種できるようになり、感染拡大が収束し、このウイルスが風邪ウイルス扱いになることを願います。

最後に、今年が仁泉会の皆様にとって日常に戻る年でありますようにお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 謹賀新年 --- 所感

### 吹田市支部長

#### 丸川 治 (学32期)

仁泉会会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

この1年間、医療最前線でご尽力の皆様には敬意と感謝を申し上げます。

当吹田市は大学からも近い北摂の地にあり、会員勤務地だけでなく住居地が吹田の方も相当

数おられるようです。例年は地区仁泉会も1/年程度開催しておりましたが、昨年はコロナ禍で見送らせて頂きました。また、次年度はまたより多くの会員の皆様に開催をご案内できることを願っております(御前 治先生、宜しくお願いまーす! )。

この新年号の挨拶、この御時勢、皆様新型コロナ関連のご報告等、深刻な投稿が多いかと思ひ、敢えて? お気楽な文章で失礼いたします。

私は近年は年齢と共に、日常生活で短期記憶障害で右往左往、仕事で発熱患者の対応に右往左往、新薬の名前が覚えられず右往左往、Web 会議 Zoom なんちゃらで右往左往、ゴルフではラフからOBゾーンに右往左往、街中では綺麗な女性に目が移り右往左往、等々もはや徘徊状態! の只々慌ただしいだけの毎日を過ごしておりましたが、この1年は少し時間的な余裕が出来ました(経済的には困窮しましたが)。

その為、おうちで一人のんびりとCDを聞く機会も増えました。CD ラックの奥の方のをひっぱり出して、久しぶりにいろんなのを試します。これが結構楽しいのです。歌は世につれ、世は歌につれ。ひび割れたジャケットは懐かしく、音楽はその時々の記憶にリンクしています。私の音楽歴は家族の影響多大! 祖父は謡曲、祖母は演歌、父はハイフェッツのメンコン等クラシック系、母はプレスリー一筋のポップス系、兄貴はストーンズ等ロック系、幼少時からまさに音楽的に(も)カオスの世界! で育ちました。その後は、高校時代下宿屋の小さなステレオに針を落としたキースジャレット、大枚はたいて買ったリヒテルのバッハ、初めて行ったジャズ喫茶のコルトレーン、等など。この時代に私の音楽的趣味傾向が形成されたかと思ひます。その後は浪人時代はラジオの深夜放送、大学に入ってからカーステレオ、もっぱら部活の合宿や遠征のお供のBGM、サザン、タツロウマリア、ユーミン etc、ほろ苦い思い出楽しい記憶。

地獄の研修医時代はOP後の唯一の楽しみスナックカラオケでしょうか。その時々いろいろなCDを聞くと、一人昔に思いを馳せながらタイムスリップ、少しリラックス出来るような気がします。こんな時のふとゆっくりほろ酔い気分で聴くメロディーが、免疫力を多少なりともアップできるのかも知れませんが。

でも、11月に大フィル定演でマーラー5番を聞く機会がありました。(会場フェスの座席はかなりの密状態でしたが)大編成での大音響と心に染み入るアダージェット! まさにライブの醍醐味! 久々に感動いたしました。やはりCDでは味わえない肌で感じる演奏会に(飲み会にも3密避けて5つの小コ!を順守して)たまには出かけたいものですね。つたない文章で申し訳ございませんでした。最後に、早く全世界がコロナ前の元の状況に戻ることを祈念して筆を置かせて頂きます。

## 新年のご挨拶

### 寝屋川市支部長

#### 山本祐三 (学26期)

新年おめでとうございます。皆様方、新型コロナ感染症の渦中、それぞれのお立場で大変ご苦労されていることと存じます。小生は学26期生で、耳鼻咽喉科診療所を開業して21年になります。

2019年、中国で発症した新型コロナウイルスは瞬く間にパンデミックに発展し、世界中の国力がそがれ、IMFの試算では2020~21年の経済損失は世界全体で約1300兆円に達し、全ての国民生活にも深刻な悪影響が及んでいます。私的な話になりますが、2020年は耳鼻咽喉科開業医にとっても、いくつかの異変が集中的に襲来する過去に例を見ない受難の年となり

ました。2020年を耳鼻科医の立場から時系列で振り返ってみたいと思います。

2019年12月~2020年2月までの日本の平均気温は過去の平均気温より2.0度も高く、冬の最高記録を更新し、100年に1度の暖冬となる地域が多くみられました。従って例年に比べてインフルエンザの罹患率は低く、市中感染症も少ない低調な年明けとなりました。

例年、2月下旬から3月、4月はスギ、ヒノキ花粉の飛散時期で、耳鼻科では1年間で最も繁忙期となりますが、2020年度は2019年の大飛散の翌年にあたり、関西では飛散量が例年の平均に遥かに届かない年回りとなりました。

2月頃より中国での新型コロナ感染状況がニュースで伝えられていましたが、当初はランプ大統領だけでなく、日本でも対岸の火事程度にみていました。ところが瞬く間にこのウイルスが猛威を振るい日本全土のみならず世界中に伝播し、パンデミックを起こしました。

丁度、日本での新型コロナウイルス感染症拡大が花粉症の飛散時期に一致したため、新型コロナに対する身近な感染防止対策としてすべての国民がマスクの装着と手洗いを慣行するようになり、これが花粉症対策やコロナ以外の感染症の予防効果ともなり、耳鼻咽喉科外来受診患者は大きく減少しました。

この時期の統計資料をみますと、耳鼻咽喉科診療では過度なメディアの報道や未知なウイルスに対する恐怖心から、感染機会が高い密な対面診療を避けるための受診抑制がおり、2020年4月と前年4月と比べると外来患者数は40~55%の激減となり、その結果、耳鼻科診療所の97%で40%以上の収入減少となりました。これは全ての診療科のなかでworst oneの記録で、まさに耳鼻科診療所受難の一年となり、さらに2021年の現在も進行中です。

以上、2020年、耳鼻科診療は空前の閑散期になりました。その間、小生は2つの耳鼻科専門誌、JOHNS (JOURNAL OF OTOLARTNGOLO

GY, HEAD & NEDK SURGERY) (東京医学社)、MonthlyBook ENTONI (全日本病院出版会) に次の論文を投稿しました。

山本祐三：口内炎、舌炎、舌苔の局所治療 .JOHNS 36, 720 - 724, 2020.

山本祐三：難治性口内炎・難治性口腔咽頭潰瘍 .MB ENT, in press, 2021.

大学に長く勤務し学会活動を行ってきましたので、開業してからは臨床研究を中心に学会活動を継続し、年に1度の学会発表または論文投稿に努めてきました。口腔咽頭領域は気道と消化管の入口として耳鼻咽喉科のみならず他科でも視診を欠かせない領域ですが、耳鼻科医にとってもこの領域の病変の診断に難渋することがあります。さらに病変部位が口腔咽頭に限局するだけでなく、内科、皮膚科など全身疾患の部分症状として発生することもあります。さらに現時点で、既存の独立疾患に属さない再発を繰り返す難治性口腔咽頭潰瘍が存在します。小生はこれを「口腔咽頭の粘膜、粘膜下層をおかす特発性、非特異的炎症性疾患で、病変は再発、再燃を繰り返し、難治性である。」と定義しています。この疾患は例えばベーチェット病やクローン病、類天疱瘡など既存の疾患の先行病変として口腔咽頭に発生した部分症状である可能性について議論の余地がありますが、自然免疫が関係し、自己抗体を認めず、ベーチェット病や家族性地中海熱などと類縁性が高い点から、自己炎症性疾患の範疇に分類されてよいのではないかと考えています。

さて、2021年、安全なワクチンの供給、治療法の確立により一刻も早く新型コロナが収束することを祈念致します。また失われた20年で国力が低下し世界の後塵を拝するに至った日本が、今回の天災で露呈した疲弊部分を検証し、コロナ後の新しい世界秩序の構築に指導的役割を果たし、学問、教育の分野でも世界を牽引する輝く国家に復興することを願っています。

## 医者としての卒後50年を振り返る

### 松原市支部長

#### 松本泰仁（学20期）

今春で、卒後50年を迎える。

学20期の小生たちは、大阪医科大学の教養学部（今は、ありませんが当時の6学年のうち、最初の1回生・2回生は教養学部で、普通の大学と変わらずに外国語2教科・物理・生物・数学・哲学・心理学・体育と医学概論の授業で、3回生・4回生が基礎医学、5回生・6回生が専門医学でした）。小生たちの入学した昭和40年は、他大学で教養過程を済ませての、専門学部への入学の学18期生も入学しました。

小生たちの、教養学部は、高槻高等学校の南に沢良木キャンパスに新しい校舎がありました。午前の授業が終わると、一部の者は弁当組もいましたが、殆どの者が、大学町の本部の学食に食べに行きました。当時は、付近に食堂もなく、当然、コンビニもファミレスもありません。阪急京都線の踏切（当時は、線路は高架ではなく、地上を走っていた）までの周囲の田圃を見ながら（当時は、また田圃が多かった）学食まで歩いていきました。午後の授業が終わると、部活に参加した。

小生は、バレーボール部と想っていたが、当時は体育館がなく、屋外コートだったので、屋内で出来る卓球部に入部した。卓球の経験はなかったが、遊びでしていた程度である。当時の卓球部の練習場は、本学の東にある（現在も、歴史的建造物に指定されて残っている）3階の講堂でした。床が、ゆるやかな傾斜があり、本番の試合場とは違って負ければ、傾斜の無いのを勝手な言い訳にしていたりした。

文化部では、謡曲部に入部した。謡曲は、父親（大阪高等医学専門学校第4期生）も習っていて、父親の婦人科の卒業試験に赴任してきた

のが小島先生であったと。その小島教授が謡曲部の部長であった。練習場は、産婦人科の外来で行われた。

楽しく6年間を過ごし、卒後の進路は、父親と同じ外科をと思い、当時の外科の武内教授・板谷教授にも声を掛けられていたが、当時の医局制度が気に入り、2・3年ごとに他病院に派遣されるのは苦手で、その時に、親戚の外科病院の医師より声がかかり、その先生の卒業した関西医科大学の附属香里病院なら、出向もなく何年でも在籍できると言われ、当時の外科部長の高山文三先生の処に挨拶にいった。当時、病院長をされていて、病院長室で話をさせていただいた。いつから来るのかと言われ国試終わって6月頃と言うと、直ぐに来いと言われ、4月8日から行かされた。この病院では、学位はダメと言われ、外来と病棟とオペ室と、バイトは、1年間ダメと言われ、助手と同等の給与が貰えた。初めは、全く知らない病院で、顔見知りもないところで不安であったが、一日中多忙であり、外来のシュライバーと簡単なアッペや鼠径ヘルニアのオペを先輩の指導医の下でさせてもらえた。当時の外科は高山部長以下6名の医局員で一番下の先輩でも5年上で知識も技術もあり、真似をさせてもらった。

1年目が終わる前の2月に初めて胃潰瘍の主治医を任された。術前の準備に輸血を用意すると、先輩からはそんなに術中に出血させるのかと冷やかされて、手術当日は部長と先輩の助手を前に、今まで何回胃の手術の助手についてのかと言われ、主治医の指示や手が止まったら手術から降ろされることになったが、何とか閉腹までさせてもらえた。勿論、患者さんは無事に退院された。慣れてくるにしたがっていろんな患者さんを持たされた。腹部手術は勿論、胸部外科も。一番大変だったのは、この病院が北摂地域の未熟児センターを抱えていたので、小児外科も大変だった。食道閉鎖・胆道閉鎖・鎮肛・先天性巨大結腸症・多発小腸閉鎖など。術後は、

未熟児センターに泊まり込みが多かった。その間に、部長先生に他病院からの手術依頼に、車の運転手兼助手としてお供させてもらえることも多くなった。このことで、更に手術の技術が向上した。

昭和60年の末ころに同級生の垣谷隆一郎君から連絡があり、彼の病院に来てくれないかと。当時、外科のナンバー2の位置にいたので、後任の人事が決まるまでと言うことで、昭和62年7月から垣谷君の松原市にある明治橋病院の外科で仕事をさせてもらった。そうこうしている間に、父親が80歳を過ぎ、母親から、診療所に帰って来いと言われ、平成4年11月に父親の診療所の横に、松本医院を新築。父親から移譲を受けて町医者となった。三代目である。

患者数も、かなり落ちていて、一ケタの日も度々だった。今日まで、町医者として頑張りながら、医師会活動もし、地区の医師会長も拝命させてもらい、又学校医活動も、先輩の学13期の三田稔先生に誘われて、大阪府学校医会の仕事もさせてもらった。今も学校医活動は続けている。

診療所は、息子尊彰（関西医科大学卒）が週1回内視鏡検査に来てくれている。

いずれ、診療所を継いでくれるということです。そのために、隣接地に診療所を増設しました。

これで、地域医療も守れると、ほっとしています。



# 冠

## 貝塚市支部長 川崎康寛（学35期）

あけましておめでとうございます。昨年は年明け早々からコロナに振り回された年でしたが、今年のうちには終息に向かうでしょうか。干支のように牛歩であっても終息に向けて進んで欲しいものです。

さて、当然のことながらこの原稿を書いているのは2020年の11月です。例年、日本漢字能力検定協会では12月15日頃に「今年の漢字」を発表しています。そこで、「今年の漢字」を予測してみました。ここ数年をみますと2015年「安」、2016年「金」、2017年「北」、2018年「災」、2019年「令」などやはりその年に関係した漢字が選ばれています。少しさかのぼると、2009年は「新」でした。この年は、衆議院選挙の結果で政権交代があって民主党政権が新しく発足したこと、アメリカでもオバマ新大統領が就任したことなどとともに、新型インフルエンザが流行したことなどで「新」が選ばれています。2020年も新型コロナウイルス感染症の流行に伴い新しい生活様式が求められたことで再び「新」なのかもしれませんが、折角なのでちょっとひねって考えてみました。すなわち新型コロナウイルス感染症の「新」ではなくて、コロナの方に着目しました。

コロナはラテン語で王冠を意味します。コロナウイルスは王冠を連想させる特徴的な外観（皆既日食の時に太陽の回りにみられる光芒も同様です。）から命名されています。ということから「冠」を今年の漢字として推したいと思います。コロナウイルスだけでは根拠が薄いですが、2020年は将棋界では藤井聡太さんが7月に棋聖という棋戦で初タイトル（初戴冠）、さらには8月に王将という棋戦で二つ目のタイトル（二冠）をとりました。いろいろなニュー

スでも藤井二冠と称されています。今年もいろいろなタイトル戦などで名前が出てくるのではと思います。碁界に目を移しますと、井山裕太さんが三度目の大三冠となりました。一時は囲碁棋戦における七大タイトルすべてを保持（七冠）していましたが、若手の台頭により大きく後退しました。しかし、10月に名人を取り返して四冠とするとともに、日本の囲碁の棋戦における七大タイトルのうち、特に上位とされる三大タイトル（棋聖・名人・本因坊）に同時に在位すること、すなわち大三冠（だいさんかん）を獲得されたとのことです。

この原稿が皆様の目にとまる時には「今年の漢字」は既に発表されているはずですが、果たして、当たっていますでしょうか。

## 新年のご挨拶

### 和歌山県支部長 田伏俊作（学20期）

新年明けましておめでとうございます。

昨年は早々に、新型コロナウイルスに見舞われ、総会の打ち合わせ役員会のその日に和歌山でも、病院の医師や患者の罹患が出るなど県民を震撼させました。その後全国的に拡大し、当仁泉会和歌山県支部も総会の中止を余儀なくされました。

昨年当会にとってもう一つの大きな出来事は、当支部総会に40年以上もご出席頂いた名誉会員の中田勝次先生が、ご逝去されたことです。和歌山ご出身の先生は、こよなく和歌山を愛され、総会でも毎回後輩の我々と歓談されいつも気に留めて下さっていた事と思います。3年前の懇親会の時「田伏君はもう医院を閉めたのか？君はまだ若いのに」と叱責されました。先生はその時、同期の木野先生が理事長を務める北摂総合病院で病理診断をされているとおっ

しゃっていました。そして「これが最後の出席や」と。一昨年は欠席された先生が、昨年9月13日にご逝去されたという事です。長い間本当にありがとうございました。先生のご冥福を心よりお祈りいたします。

さて今年は大阪医科大学も大阪医科薬科大学となり、新しく発足いたします。仁泉会の名称はそのまま引き継がれるものと思っておりますが、どうなるのでしょうか？今後大阪薬大の和歌山県同窓会（紀薬会）との交流も考えていく必要があると思っています。

新型コロナウイルスは、簡単に終息する事なく今年も続くでしょう。しかし安全なワクチン開発や、安価で精度の高い検査キットそして治療薬の開発は、必ず良い結果が出ることと期待したいところです。我々も油断なく予防して、日々の診療をしていきたいものです。そして安全対策を講じて今年の総会を実現していきたいと考えています。

最後に、今年も仁泉会の皆様方にとって良き年となることを祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 令和3年新春雑感 ーコロナ不況を乗り越える ために接遇研修を 受けてみたらー

### 川西市支部長 土肥恒夫（学28期）

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはコロナ終息という希望を持って新春を迎えられたことと存じ上げお慶びを申し上げます。

私は整形外科を標榜する無床の診療所を開設して25年になる整形外科専門医です。今まで

は順風満帆できていましたが、ご多分に漏れずコロナの影響を受け患者数は激減、夏ごろから徐々に回復してきましたが10月末の時点で昨年比2割減で、巷では整形外科はほぼ回復しているとのうわさがでています。これを何とか打開すべく開院以来してこなかった接遇研修を、私を含めスタッフ全員で受けてみました。

まず、知合いから紹介を受けJALの接遇研修をしてこられた方に、当院の評価をしてもらいました。私がいいうのも何ですが、地域に根ざし、確固たる地位を築いていると思っていました。言葉遣い、電話の応対といった接遇にも気を配り、制服にも金をかけていました。技術的にもPTを5人揃え、介護保険の分野にも手を広げています。レントゲン技師もいます。地域の基幹病院からも術後のリハビリ依頼が少なからずあり、私は満悦に浸っていました。しかし、患者数が世間より回復しない原因を探るべくまず来院患者が初めて目にする受付から一から見直すことにして、覆面調査を依頼したのです。

その結果が1週間後に出ました。提示された評価表の上の欄に49という数字が目に入りました。私は恐る恐る満点は何点かと問うと100点ですと言いつつ放たれました。どんなに悪くても60点はあると自負していただけにこのショックは大きかった。指摘された点を挙げてみます。

1. 電話にでるのに10コール待たせた
2. 「お待たせしました。」のお断りが無い
3. 駅の東出口からか西出口からかが答えられない
4. 電話の話が早口で分かりにくい
5. 道順の説明が要領を得ない

これがうちに10年以上勤務しているベテランだ。他の二人は玄関の扉が開いても「おはようございます」などの声掛けが無い。壁にもたれて立っている。受付スタッフがピアス、マニキュアをしている。名札が腰にあり見えない。待っている患者に声掛けが無い。等とまだまだ

ありました。服装のマニュアル作りから指摘された点をスタッフ全員で改善させる準備を始めました。開業した25年前と社会が変わっているので、コロナ禍はいい機会と思っています。同窓会の会員の皆さんも一度覆面調査を受けてみられたらいかがでしょうか。

## 年頭所感 ～ We shall overcome!

### 岡山県支部長 小出尚志（学28期）

令和三年、あけましておめでとうございます。昨年はコロナの一年でした。残念ながら仁泉会岡山支部も活動停止状態が続いています。中国武漢に端を発した新型コロナウイルス感染症は猛威を振るって世界パンデミックとなり、感染の広がり第2波、第3波と波状攻撃を繰り返しながら1年余りが経過しましたが、未だ終息の兆しが見えてきていません。

高い感染力の一方で重症化率、死亡率はインフルエンザ並み故に「過度に怖がらず、正しく恐れよ」とのことですが、個々人にとっての感染と重症化はロシアン・ルーレットです。罹患者への理不尽な誹謗中傷も大きな問題でした。自分を守る、家族を守る、そして職場を守るため、手洗い・うがい・マスク着用・検温、ソーシャル・ディスタンス、換気、密閉・密集・密接の三密回避、不要不急の外出や会食の自粛、on-site や on-line での会議、講演会... 日々の感染予防行動や様式の変化で私たちの日常は大きく変わりました。外に目を向ければ、企業の経営不振や倒産の急増、経済の停滞、賞与カット、燃え尽き退職、自殺者の増加、... 社会全体の閉塞感が広がっています。個人も組織も社会にもコロナ疲れが見えてきています。そんな中、感染予防効果において90%という高い有効性を

持つ複数のワクチンの開発が進んでいることは大きな光明であり、早期の普及は万人の願いです。

さて、今年の十二支は丑です。60年サイクルの干支でいえば辛丑（かのと・うし）です。東洋思想では未来は定まったものであり、大自然の摂理や世の中の循環、生命のサイクルをもって未来を計ろうとする考えの一つが干支ということになります。辛丑はどんな年？ネットで検索してみると、痛みを伴う幕引きと大きな命の芽吹きが互いに増強しあう年とありました。幕引きと命の芽吹きという文言から期待されるのは、コロナ去って心機一転、ポスト・コロナの新たな社会の幕開けでしょう。しかし、幕引きに伴う痛みが不気味です。ワクチンの普及までに、パンデミックの一層の深化やウイルスの変異が起こるのかもしれませんが。ポスト・コロナの社会がどのように変わるのか？見通せません。しかし、一波乱あろうとも、必ずや今年がコロナ終息の年となることを信じましょう。辛丑の年ですから。We shall overcome!

## 苦あれば楽あり

### 香川県支部長 石田達也（学28期）

明けましておめでとうございます。仁泉会ニュース51巻4号をご覧になった先生もおられると思いますが、小川翼先生（学18期）が瑞宝双光章を受章されました。先生は、日常臨床の他、医師会活動、保険審査会活動とご多忙の中、学校医として40年以上にわたり生徒の健康を見守ってこられました。地域医療に深く携わられてこられた先生に相応しい受章と思われれます。さらに、櫻村雅典先生（学29期）が憲法記念日知事表彰（医療功労）を受けられました。高松市医師会から始まり、現在は香川県

医師会理事としてご活躍中で、医療保険制度の取り纏め役として厚労省の考え方やこれからの医療のあり方などを的確に伝えるなど精力的に活動を続けておられます。私の同級生でもあり、誇らしい限りです。ご兩名の先生、誠におめでとうございます。

さて、昨年新型コロナをめぐるドタバタ劇は悪夢でした。学会参加の名目で日本各地を回り、懇親会で語りあい、二次会で羽目を外していたあの楽しい日々は、遠い過去のもの。感染者が近隣で発生した時点から生活は一変。自院（耳鼻咽喉科医院）では受診者数が激減し、今までに経験したことのない“暇な時間”を味わうことになり、身体的には楽、精神的にはお疲れといった“新しい生活様式”に突入。只事ではないと、感染防止のための手作り作業に没頭。受付や診療ユニットにDIYを活用してのシールドクロス吊り、フェイスシールド作製、額帯鏡にプラバンを用いた簡易シールド装着、駐車場まで届く遠隔用呼出ベルの設置、シールド越しの音声伝達スピーカーシステムの導入（難聴者対策）、ネブライザー間のスペース確保、間仕切り板の設置、待合室のレイアウト変更等々、アイデア探しだけで時間が過ぎてしまい、本業が何かを忘れてしまうような年でした。

皆様もいろいろな御苦勞があったと思いますが、『苦あれば楽あり』の言葉を信じましょう。近隣で起こった飲食店クラスターでも、無事に営業再開するや否や常連客達が強く応援し今まで通りに復活を遂げています。思わず笑顔になってしまう話です。

うどん県香川。休日の有名店では、相変わらず長蛇の列。ただ皆さん黙って並び、ただひたすら啜り、急いで次の店を目指しておられるようで、頼もしい限りです。

今年も年明けうどんを食べて元気にやってみましょう。

## 新年のご挨拶

### 愛媛県支部長 井関亮甫（学23期）

仁泉会の皆様あけましておめでとうございます。今年は丑年。力強く、ゆっくりと確実に前進しようではありませんか。昨年十月十七日（土）ふぐ専門店「いづみ」にて県支部総会を開催致しました。参加者は次の諸先生方7名です。（写真参照）横山 闌先生（学15期）長井 新一郎先生（学18期）西上英昭先生（学18期）井関亮甫（学23期）佐藤晴瑞先生（学28期）佐々木 淳子先生（学44期）細田欣也先生（学44期）。昨年は、新型コロナウイルスによるパンデミックの為、県内の会員のみにての開催とし、仁泉会からの情報提供者の来松を中止としました。電話連絡による「卒業生全員の国試合格」との朗報はお伝えしました。今年こそは新型コロナウイルスを抑え込みポスト・コロナの新しい時代が来ることを祈念して筆を擱きます。



## 新年のご挨拶

### 高知県支部長 濱脇弘暉（学11期）

明けましておめでとうございます。

高知県支部の濱脇弘暉と申します。

昨年から新型コロナ問題で全ての活動が停滞するという異常事態が続いておりましたが、高知県支部会員で幸い新型コロナに罹患した先生はゼロだと承知しています。7月22日に「高知県のコロナ」を仁泉会会報原稿として送付しましたが、10月22日高知県の報告では、140人の感染と4人の死亡が報告されており、現在、無症状～軽症1人の入院患者のみという状況です。今後も油断せず個人的自粛生活（新しい生活）を続けなければいけないと考えております。

さて高知県の仁泉会は年1回、正月明けか2月初めまでに必ず総会兼懇親会を開催しており、極めて仲良しの会として他大学から羨ましがられています。ただ残念ながら2021年はコロナを考慮して開催中止を決めております。

会員は2019年3月時点で、高14期から学56期まで33人、ちなみに物故会員は31人で、長い期間にわたり大学への入学者ゼロという寂しい状況です。

現在83才7か月の私は、随分と長く支部長を務めさせて頂き全国一の超高齢支部長ですが、他地域の若い支部長がどんどん出ている中、お恥ずかしい限りで、何度も引退をお願いしています。ただ「死ぬまでやれ」「歩いて来られる間はやれ」とか恐ろしいことを云われ続けています。

ここ数年の大学の発展・進化は目を見張るものがあり、誇らしくもあります。ひとえに植木理事長のご見識と行動力の賜物と、ただただ感謝しかありません。

高知県と大阪医科大学との関係は随分と深く、「高知県地域医療支援寄付講座もしくはプ

ロジェクト」の協定を2015年1月に結び、2018年3月23日に2020年3月末までの3期目の協定が決まり、更に2020年3月24日には大学から大槻学長がご来高され更に事業が継続する事になりました。ただただ感謝しかございません。現在も高知県内の僻地・窪川病院と嶺北中央病院に内科医2名を派遣して頂いており、高知県の最重要政策として知事初め行政も重要視しているプロジェクトであり、県内医師への総合診療専門医の養成や大阪医科大学各種系統の学生にとっても多職種連携を学ぶ場として有益な効果が根付き始めており、2015年5月と2018年10月には大阪医科大学・高知県地域医療支援プロジェクト協議会が大学で開催され、有意義なプロジェクトだとの評価を頂いております。医療過疎の問題を各地域で抱えている我が国で極めて有効でユニークな取り組みだと自負しております。今後の益々の進化発展を祈っています。

どうか今後とも、高知県へのご指導・ご支援、なにとぞ宜しくお願い申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

## コロナ禍で メンタルヘルスを思う

### 長崎県支部長 西脇健三郎（学21期）

はじめに

社会に未曾有の混乱と不安をもたらした今回の新型コロナウイルス禍は、社会、経済の停滞と疲弊とともに、人の心に荒廃を招くなど、メンタルヘルス（精神保健）にも影響を与えている。私は、そのための「治療、回復のための切れ目ない支援体制の整備が不可欠だ」と訴えたい。

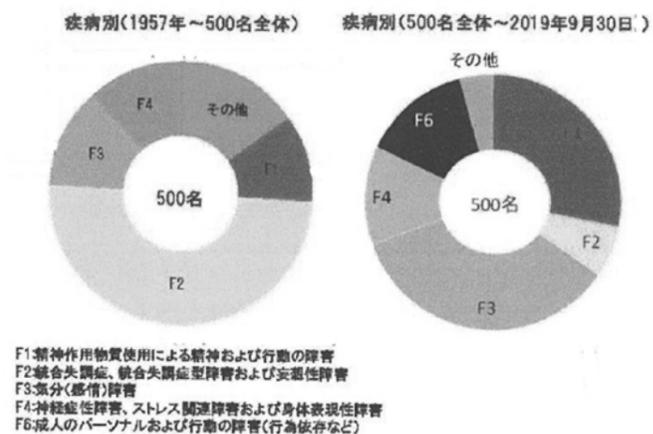
### DPATもいいが、精神科治療は「林業」の如し

当院では、今年3月末から、「相談」「外来」「入院」の項目別に新型コロナ関連の精神疾患の動向をまとめている。まだコロナ禍の8月現在、コロナ禍が直接的に影響したと推測される患者数は大きく伸びていない。だが、自然災害時にも見られるが、今後2、3年のうちに急増する。とくに今回は、医療従事者、介護職、そしてエッセンシャルワーカーと呼ばれる人たちが気がかりだ。その使命感が強ければ強いほどうつ病やもろもろの依存症といった精神疾患に罹患することが懸念される。

### すでにおきている疾病構造の変化

現在の精神疾患は、大きく二つの流れに分けられる。一つは統合失調症で、戦後しばらくはこの患者がほとんどを占めていたが、現在は激減。代わって、新たに台頭してきたのが、うつ病とアルコールやギャンブルなどの依存症である。

図 西脇病院開設時と現在の初診患者疾病分類比較



精神疾患は今やがんや脳卒中などと並ぶ五大疾病の一つに数えられるほど、その割合は増えているものの、現在の精神医療は、「こうした疾病構造の変化に対応できていない」。

その原因について「精神科医がうつ病もだが、もろもろの依存症の的確な診断と治療のすすめ方を身に付けていない」と指摘したい。近年、同院に他の精神科や心療内科からの紹介で受診する依存症患者の6割以上が依存症以外の診断

名で治療が行われていた。また、当院に何とか受診してきた患者（依存症者）は、他の精神科や心療内科を掲げる医療機関で「門前払い」、「まともに相手にされず、治療が中断」のケースが少なくない。特に、プライドなどから自分の病を受け入れられない「否認」の問題を抱える依存症を治療につなげるのは難しい。そのために臨床の実践知が問われ、経験豊富なノウハウが重要となる。

### コロナ禍のメンタルヘルス、求められる精神医療

このコロナ禍、そしてこれから、とプライド「否認」について考察を加えてみると、「社会活動の停滞、コロナ国債、今後の経済に対する影響が著しいことは多くを語る必要はない。国民の多くは、そんな現状、未来の経済的な課題のみでなく、彼らがこれまで培ってきた誇り、プライドも打ち砕かれている。そんな状況から立ち直るのは容易ではない」といっていいだろう。「そこで立ち直りがかなわなかったり、または克服するのに多くのエネルギーを要する場合、「喪失」あるいは“燃え尽き”からうつ病、もろもろの依存症に陥るのは自明のことだ」。そして、「その先の自殺が…」その対策は急務であるが、現状は、そんな精神医療に対する関心と対策が充分とはいえない。今こそ「経験豊富な臨床の実践知が重要である」。

### 温故知新

1975年、当時の神戸大学教授、中井久夫は次のように語っている。

高度成長を支えた者のかなりの部分が執着性気質的職業倫理であるとしても、高度成長の進行とともに、執着性気質者の、より心理的に拘束された者から順に取り残され、さらに高度成長の終末期には倫理そのものが目的喪失によって空洞化を起こしてきた。(中略)その後に来るものはあるいは、より陶酔的・自己破壊的・酩酊的・投機的なものではないかと…

その後、「赤信号、みんなで渡れば怖くない」と国民は大挙して、さらなる経済活動を押し進

めた。結果、バブル崩壊。そして平成の時代の日本は国際競争力を失い、日本経済は崖っぷちに追い込まれた。そこでオリンピックだ、インバウンドだ、と何とか取り返そうとしていたところへ、コロナが来てしまった…。これから対策、そして、その立て直しは待ったなしだ。そんな先の時代は、中井の語る1970年代半ばと、重なるところがある。現に、4～5年前から、「陶酔的」については法は成立していないが、(違法)薬物使用に対する刑の一部執行猶予制度の導入。「自己破壊的」は過労死等対策推進法が、そして「酩酊的」はアルコール健康障害対策基本法、さらに「投機的」にはギャンブル依存症対策基本法が整備されている。

しかし、「仏作って魂入れず」の感は否めない。

#### 習うより慣れろ

とくに、「依存症」に関しては、厚生労働省の医道審議会医師臨床研修部会において2018年3月までに臨床研修で経験すべき到達目標の疾患としてあげている。しかし、未だ研修必須の疾患とはなっていない。これは、総合病院の精神科を含めて、精神科医療機関で臨床研修医のための症例の準備(レポート作成)ができないためだと推察する外はない。確かに現在の全国規模の依存症研修は、欧米から導入された当事者、家族向けのSMARPP(スマープ)、CRAFT(クラフト)といったパッケージ化した技法が主流である。それもいだろう。だが、精神医療に携わる諸氏に次の3点を提言したい。1つ目は、アルコール、薬物、ギャンブルなどと区別することなくすべての依存症に対して向き合う心構えについて。次にうつ病などの他の精神疾患と依存症とは合併、重複していることが多いのを踏まえた治療技術について。最後に当事者グループ、家族会と上手につき合う姿勢の大切さについて。これら3点の実践こそが重要である。その上で、「普通の精神病院(精神科クリニック)で片手間に行える依存症治療」の構築を図ってもらいたいものである。

#### 結び

この先、人と人とのつながりは大きく変化し、多様化するであろう。内閣府は2020年1月、多数のアバター、AIロボットと共生し、それを活用した社会作り、「ムーンショット目標」を発表した。達成は2050年としている。そんな社会における精神医療とは? 今から考えておいたほうがよさそうだ。

2020年8月20日記

◎参考文献『再建の倫理としての勤勉と工夫』  
「躁うつ病の精神病理1 笠原 嘉 編」  
中井久夫 1975年(昭和50年) 弘文堂

※昨年はコロナ禍で総合病院よりの研修医のローテーションは10月からになった。そこで、2020年10月1日に総合病院より研修医が派遣され、本年度より「依存症」疾患が研修医のレポート作成の要件に追加されていたのを知った。ただ、ニコチン、アルコール、薬物、ギャンブルのいずれかとなっている。精神科領域の依存症疾患のレポートがどの程度作成されるか注視した。



## 名所巡り

### 宮崎県支部長 内田 攻 (学19期)

新年明けましておめでとうございます。

昨年は新年早々新型コロナウイルス感染症に振り回され、今尚国民一人一人が不安の中、日々の生活を強いられております。

仁泉会の先生方、ご家族の皆様が今年こそ新型コロナウイルスを克服しながら、この令和三年に幸多き年を迎えられますよう心よりお祈り申し上げます。

昭和四十五年(1970年)大阪医大卒業、国試を経て医師となり令和二年(2020年)は節目の五十年であった。

遡ること平成五年(1993年)親友A君の地元北九州に級友十人が集まり、久し振りに楽しいひと時を過ごした。その最中に「毎年一泊二日で地方域に出掛け観光を兼ねてその地の歴史文化を知る旅を開こうか」と提案あり。突然の話しに酔いに任せて全員が賛成の方向で進みながら決定となる。その後学生時代からの気心の知れた悪友親友も含め十五人が出揃った。

二年後の平成七年、真先に手を揚げたB君の地元出雲で開催となった。五月下旬土曜夕方松江に集合。出雲に向う途中、茜色で穴道湖を美しく照らす夕日に出会う。静寂な一軒家、華蔵温泉に到着、早速湯につかりご馳走を食しながら近況報告で談笑。その後別室に移り昔話や最近の医療情勢など語りながら夜遅くまで大いに盛り上がった。翌日曜は大国主人命を奉る出雲大社に詣でながら巨大なるしめ縄を見て驚かされた。日御崎(ひのみさき)灯台に上ほり広き日本海とともに隠岐諸島を遙かに眺める。出雲平野の田畑の中に点在する家屋。高さ七～八メートルに直立し刈り整えられた黒松がそれぞれの家屋四方を見事に取り囲んでいる。緑豊か

な五月に美しく広がる絵画のような景観は二十六年後の小生の脳裏に今もしっかり焼きついている。

平成二十二年(2010年)淡路島では世界に誇る明石海峡大橋を神戸より渡る。平成七年の阪神淡路大震災の記念公園を見学した際には展示館に残存している実物の巨大な地割れを見てその凄まじさに驚愕した。又その夜に宿泊したウェスティンホテルでまさかのハプニングに出合った。当日、島をご訪問中の皇太子殿下(現天皇)が同ホテルにお泊りになり驚かされた。翌朝、殿下の出発時刻を知らされホテル玄関前の少し離れた場所に一同整列。殿下の笑顔に全員手を振りながらお見送りする幸運に恵まれた。

平成七年に始まり二十六年続く各地巡りも広島宮島、大分由布院、松山道後温泉、倉敷大原美術館、北海道洞爺湖、東京靖国神社、鎌倉大仏長谷寺、阿蘇黒川温泉、宇治平等院、高松栗林公園、宮崎シーガイア、横浜中華街帆船日本丸、兵庫赤穂城の他多くの歴史文化の知識吸収の楽しい旅である。仲間の年令もいつしか七十五～八十歳になる。残念な事はこの間に参加者の今岡昭夫先生、出水善臣先生、津森俊徳先生、山下能旦先生、石川義臣先生の五人のかけがえのない先生方が亡くなり誠に淋しい限りである。残った比較的元気な後期高齢者の我々で今少し、いやまだまだ楽しい各地巡りを期待している。

別れ際の挨拶は「お互いボケと足腰に注意」「自身の治療と体調に気を付けて」「無理せず又来年、元気に会おう」

あーあれから五十年!!

中止の年(三回)

平成二十一年(神戸予定) 新型インフルエンザ  
平成二十三年(東京予定) 東日本大震災  
令和二年(鹿児島予定) 新型コロナウイルス感染

## 学会報告 ● ● ●

### 日本臨床外科学会総会 第82回学術集会のご報告

文責／大阪医科大学 一般・消化器外科  
廣川文鋭、内山和久

2020年10月29日(木)から31日(土)に第82回日本臨床外科学会総会(総会会長:内山和久、準備委員長:安藤嗣彦)を、大阪国際会議場よりWEB開催しましたので概要を報告致します。

日本臨床外科学会総会は、演題数3,500~4,000、参加人数6,000~7,000人規模で、日常的な医療から高度な医療までを幅広く網羅した外科系学会です。また大阪医科大学一般・消化器外科とは縁が深く、1986年に第48回を岡島邦雄教授が、2009年の第71回を谷川允彦教授が主催され、そして今回、3度目の当教室での開催となりました。

ただ今回は、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大の中、多数の学術集会が延期・中止を余儀なくされており、一時は開催中止まで検討いたしました。しかし、このような状況下でも、我々外科医が自分たちの技術、知識習得の研鑽を積む姿勢は変わらず必要で、最新の知見を交換し合う機会を維持すべきであると考え、通常より演題を厳選したWEB

開催という新たな形態で行うこととしました。

メインテーマを決めるにあたり、手術は開腹から腹腔鏡・ロボット手術へ、さらに診断部門でもAIの研究開発が推進され、外科領域へも応用される時代へと移り変わっていることを鑑み、諸先輩が築かれてきた外科手技を継承すると共に、次世代で斬新なエビデンスを創造していただけることを期待し、メインテーマは「外科学のパラダイムシフト—継承と創造」としました。またセッション数は縮小したとはいえ、現在の外科が抱える問題である「外科医の働き方改革」、「女性・若手医師の育成」、「高齢者患者への対策」など、さらに緊急企画として「COVID-19に対する対策・取り組み」をテーマとした9つの特別企画、45のシンポジウムなど、そして若手のために38の研修医セッションを用意しましたが、海外演者の召集や各分野の著名人による特別講演はコロナ感染の現況を鑑み、全てキャンセルとしました。

準備段階では、誰しもが全国規模のWEB開催の経験値は乏しく、日本臨床外科学会としても初めての試みでもあり、参加人数の心配に始まり、何よりセッションの進行が円滑に行くかと気をもむ日々を重ねながらの手探り状態で当日を迎えることとなりました。当日は大阪国際会議場で、前述の計92のセッションを6つの配信ブース(WEB会場)に振り分け、各ブースでは、ZOOMを介して座長と発表者の計8-10名による事前登録スライドの上映な

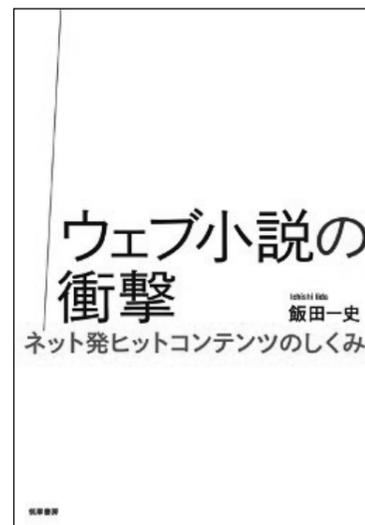
らび討論を行っていただきました。視聴者からのチャットによる質問は少なかったものの、ZOOM内では予想以上に活発な討論を繰り広げることができました。なかでも高槻赤十字病院の平松昌子副院長と東京医療保健大学の小西敏郎副学長が司会をされた「外科医減少に対する具体的な戦略」では、当院でも取り組み始めている看護師による特定行為の導入経験や緊急手術における外科医・麻酔科医のインセンティブ・フィーの導入など各病院からの取り組みだけでなく、厚生労働省医政局の方も交えた実りあるもので、非常に印象深いものでした。Live配信後も全ての2,183演

題を2020年10月29日から11月30日までオンデマンド配信を行いました。最終参加登録人数も招待者を含めると4,500名を超え、大きなトラブルなく成功裏に学会を終えることができました。今後、社会のIOT化が加速することにより、WEBを主体とする学会がさらに多くなると予想されます。

最後に、この成功は仁泉会理事長 安藤嗣彦先生ならび仁泉会会員の皆様方からのご支援・ご指導の賜物と心より感謝申し上げます。今後の仁泉会の益々の発展を祈念しております。誠に有り難うございました。

## 東雲 出張版

※「東雲」は文芸部の部誌のタイトルです。



ウェブ小説の衝撃——  
ネット発  
ヒットコンテンツのしくみ  
著者／飯田一史

「小説家になろう」をはじめとするウェブ小説投稿サイトが存在感を強く発揮し始めたのは2010年代に入ってからですが、その影響力は今や既存の商業小説を凌駕するものとなっています。一方、シェアの拡大があまりにも急速過ぎたことから、なぜウェブ小説が人々に広く受け入れられるようになったかを正確に分析した研究書はほとんどありませんでした。

この本ではウェブ小説の投稿サイト並びにその書籍化が支持されるようになった理由が様々な観点から分析されます。分析の着眼点は旧来の出版とウェブ小説書籍化の相違点、投稿サイトのプラットフォームとしての性質、ウェブ小説で人気を博している作品の特徴、書店・版元とウェブ小説の関係性と多岐に渡り、その上で筆者はウェブ小説と既存の出版社が共存共栄していく将来像を提示します。

ウェブ小説は2020年現在もシェアを拡大させ続けていますが、この本で述べられた筆者の主張は刊行から4年以上が経過した今でも十分に通用するものです。ウェブ小説を好きでも嫌いでも、少しでも興味のある方には必読の一冊と言えるでしょう。

医学部4回生 文芸部 黒川四郎



# 学会報告

## 第8回シミュレーション 医療教育学会学術集会(10月24日) 開催報告

文責/医学教育センター 駒澤伸泰、中野隆史

2020年10月24日(土)に第8回日本シミュレーション医療教育学会(大会長:医学教育センター駒澤伸泰)を大阪医科大学で開催しましたので概要を報告致します。新型コロナウイルスパンデミックの影響により、開催が危ぶまれましたが、政府、大阪府、大阪医科大学の基本方針に従い、十分な感染対策を行った上での現地開催を基本とし、遠隔併用のHybrid開催と致しました。

今回は「シームレスな多職種連携教育のためのシミュレーション～Society5.0における医療者教育の探求～」をテーマとして大阪医科大学新講義実習棟・講義実習棟を会場として、参加者数約130名(遠隔含む)で活発な討議が行われました。一般演題に関しては、新型コロナの影響で来阪が難しいケースの4題を録画配信としましたが、5演題が自己判断により取り下げられました(最終的には20演題)。特筆すべきこととしては、本学医学生による発表を3題いただいたことです。

一般演題の後には、多職種連携教育に対するシミュレーション教育法の活用に関するシンポジウム、人工知能とシミュレーションに関するパネルディスカッションを行いました。

また、本学メディカルトレーニングクラブの廣砂賢佑主将が指揮を取った遠隔における学生セッション(これからのシミュレーション教育を医学生目線で考える)を行うことで全国のシミュレーション教育法に興味のある交流を行うことができました。学生セッションの前には琉球大学病院・おきなわクリニックシミュレーションセンターの大内元先生に基調講演をいただきました。

午後には、シミュレーション教育者の研修

と認定に関するワークショップを現地および遠隔併用で行いました。パネルディスカッションを始めとする報告論文が本誌に掲載されていますので、ご覧ください。

今回の学会は、新型コロナウイルスパンデミックへの徹底した対応のため、距離を確保した着席、手指消毒の徹底、マスク着用、全て口頭発表などの予防処置を行いました。

学会準備およびご参加に当たっては、新型コロナウイルスの影響もありましたが、多くの方々の支えにより無事に終了することができました。心から感謝申し上げます。今回の学会が、多職種連携教育の円滑な導入と発展に対するシミュレーション教育が大きく寄与することを期待しております。



# 学会報告

## 日本レチノイド研究会 第31回学術集会のご報告

文責/瀧谷公隆(学術集會会頭、  
本学 医学教育センター 学38期)

令和2年10月17日(土)、大阪医科大学(新講義実習棟P101教室)にて、日本レチノイド研究会第31回学術集會を主催いたしました。本研究会は、1989年に国立がんセンターで開催された「レチノイドとがん」と題したシンポジウムを契機として発足した研究会です。レチノイドを通じて、合成化学、薬学、生物学、農学、医学を包括した広い分野の研究者が所属しています。毎年秋に学術集會を開催しておりますが、国内外のレチノイドや核内受容体研究に関わる研究者が専門分野を超えた交流を行っております。10年前に玉井浩名誉教授が第21回を主催され、今回は2回目の本学開催となります。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、学術集會の開催方式については非常に悩みましたが、1)大学が学内の集會開催を許可されたこと、2)本研究会の目的は、異分野の研究者の交流であること、3)会員が対面形式の開催を希望されていたこと、4)時期的に県を越えた移動が可能であることから、対面形式の開催に踏み切りました。但し、感染予防を徹底するために、以下のことに気をつけました。1)事前登録制にする、2)開催前後2週間の健康調査票を送付、3)会場での体温測定・問診、4)マスク着用、5)アルコール手指消毒の徹底、6)着座は1m以上あける、7)発表者および座長はフェイスシールドの着用、などです。当日は非常にスムーズに上記の感染予防対策が行われました。参加者の皆様のご協力に感謝申し上げます。

今回のテーマは、「次世代に繋げるレチノイド研究」としました。一般演題数は10題であり、

3つの講演がおこなわれました。榎島誠教授(日本大学医学部 生化学教室)に「核内受容体によるコレステロール胆汁酸代謝及び免疫の調節」、汐田剛史教授(鳥取大学医学部 ゲノム再生医学講座)に「深化する再生医療の動向と創薬への応用」のご講演をお願いいたしました。また、本研究会の創立者である首藤紘一名誉教授(東京大学)に「タミバロテンのアルツハイマー型認知症に対する二重盲検試験」をオンラインでご講演していただきました。参加者は小人数ながら、対面形式の研究会の利点を十分に生かして、非常に活発な討論が行われました。

また、若手研究者の育成および参加を目的として、日本レチノイド研究会奨励賞を設定しています。創始メンバーのお名前および研究分野から、首藤賞(医薬化学)、武藤賞(臨床医学・栄養学)および藤木賞(基礎医学・生物学)に分かれています。首藤賞には分子機能研究所 辻一徳先生が、武藤賞には理化学研究所 肝がん予防研究ユニット 秦咸陽先生が、藤木賞には星薬科大学 衛生化学研究室 長谷川晋也先生が授与されました。いずれも秀逸なご発表でした。

約30人のご参加を頂き、成功裡に学会を終えることができました。

もし、本研究会にご興味がありましたら、ホームページをご参照ください。

日本レチノイド研究会

<http://retinoid.umin.jp/index.html>

謝辞:学術集會開催にあたり仁泉会よりご支援を賜りました。仁泉会会員の皆様方に心より深謝申し上げます。また、学術集會運営において、ご協力いただきました小児科学教室 芦田明教授および医局員の方に感謝申し上げます。

# 支部だより ●●●●

## 令和2年度 尼崎伊丹支部総会

文責／鈴木克司（学31期）

令和二年度の尼崎伊丹支部総会が10月31日（土）午後6時より、尼崎健康医療財団休日夜間急病診療所2階の理事会室にて開催され、7名の出席・15名の委任状をもって成立しました。多くの支部では今年度総会が中止となっていると聞いておりますが、当支部では今回、三密を避けて少人数で距離を取りマスク着用・換気確保の上で会食はとりやめ、決算の承認と支部活動のあり方に関する協議のみ行い約1時間をすごしました。

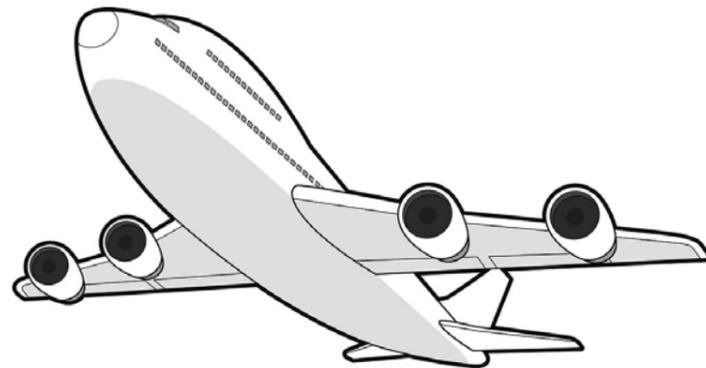
冒頭、大森英夫支部長が年1回の総会だけは開催し会員同士の顔合わせをすることの意義についてふれ、物故会員黙とうを経て協議事項にはいりました。通常のごとく鈴木が前回総会以降の会計の動きにつき説明（右表）し決算として承認されました。その後、コロナウィルス感染症蔓延時期での支部活動のあり方に関して意見交換がなされ、財源は潤沢なので支部会員への見舞金支給をしてはどうかとの提起もありましたが、大隈義彦前支部長より対象者を公平平等に選定しにくいことと、同感染症終息後に通常の活動に戻れる可能性も大いにあると思えば財源を温存しておいた方がよいとのご高見を賜り、他の参加者の賛同も得られたため、見舞金支給は見送ることになりました。

感染防止のために対面での集会や講演会がWEB形式で開催されるのが主流となりつつありますが、やはり対面での懇親に勝るものはないとの意見の一致を見、早期の終息を祈念し備えることとしました。また大森支部長は同窓会の集まりには先輩が後輩に接し助言や安心感を与えることに大きな意義があるとの考えをお持ちで、若い世代の支部会員にはいつに

ために尼崎市・伊丹市両医師会事務局を通じて会員台帳から同窓に関する情報を入手し総会時に配布することで呼びかけを進める方向性もうちだされました。その他、大阪薬科大学との合併後の同窓会のあり方や大学の動向など興味深い情報交換を行い、約1時間の総会を終えました。懇親会もなく当日会費も不要との形で進めましたが、久しぶりに同窓と交流するこのような設定も有意義かと思えます。

出席者：（敬称略）

大隈義彦（学9期） 大森英夫（学25期）  
徳田正邦（学30期） 山崎 剛（学30期）  
鈴木克司（学31期） 松浦浩太郎（学35期）  
島田哲志（学36期）



## 尼崎伊丹支部会計報告（令和元年11月～令和2年10月）

①令和元年11月10日現在残高	4,300,135 円
②令和元年11月～令和2年10月收入（令和元年9月23日現在）	
徴収会費（令和2年度分）（24名、うち本部会費免除者6名）	10,000×18+7,000×24=348,000 円
令和元年11月28日支部総会当日徴収参加費（11名）	110,000 円
兵庫県支部連合より返金	74,000 円
本部会費徴収手数料	5,250 円
利息	18+18=36 円
<b>収入合計</b>	<b>537,286 円</b>
③令和元年11月～令和2年11月支出（11月8日現在）	
令和元年11月支部総会開催関連費	
伊丹シティホテル支払い（飲食費・部屋代）	42,000+208,600=250,600 円
講師謝礼	30,000 円
花束代	22,000 円
お祝い品代	7,755 円
文具代（当日使用）	1,109 円
連絡費用（はがき・切手等）	15,435 円
切手代（令和2年度総会連絡用）	9,457 円
本部会費（令和2年度分）	180,000 円
振込手数料	770 円
<b>支出合計</b>	<b>517,126 円</b>
④令和2年10月31日現在残高（①+②-③）	4,320,295 円

## 令和3年度仁泉会学術集会助成申請について

令和3年度中に会員が主催する全国規模の学会への助成申請を募集しております。希望される先生におかれましては、申請書を1月31日までに仁泉会事務局にご提出いただきますようお願い申し上げます。

申請書は、仁泉会事務局までご依頼いただくか、仁泉会ホームページの「申請書ダウンロード」より入手頂けます。

仁泉会事務局

jimu@jinsenkai.net

tel:072-682-6166, fax:072-682-6636

仁泉会ホームページ

仁泉会

検索

# クラス会だより

## 三三会報告

文責／田中 陽 (学11期)

10月17日土曜日、紅葉前の鳥取県大山山麓の大山ロイヤルホテルで開催しました。コロナ感染防止対策で個室使用が出来ず密を避け、午後7時45分から大食堂で夕食しました。10年前にも同ホテルで開催した時は確か16名前後の参加者がありましたが、今回は笠原春生、福森英雄、辰見宣夫君と田中 陽の4名でした。ゴルフ参加者も10年前は2組でしたが、今回は福森清子さんが参加されやっと4名1組。翌日曜日は気温15度快晴に恵まれましたが10時過ぎのスタートでしたので大阪府交野市からマイカーで来られた福森ご夫妻は日暮れになる前に帰りたいご希望でハーフコンペにしました。ハーフをダブルペリア方式で行った結果のハンディキャップは田中 陽 8.4 辰見 18 福森英雄 18 福森清子 18。隠しホールを上手く叩かれた辰見君がネット36.0で優勝！田中 陽 36.6で2位、福森清子 41.0で3位、福森英雄 44.0で4位で

した。

三三会開催地は京阪神が集まり易いですが、今回は発起人候補が無く鳥取県の田中 陽が企画しました。クラス代表役の辰見宣夫君が同意され連絡を担当して頂きました。男性方は平均寿命が過ぎた三三会ですから年々少なくなるでしょう。



左から笠原春生、田中 陽、福森英雄、辰見宣夫、福森信子



左から田中 陽、福森信子、辰見宣夫、福森英雄



左から田中 陽、笠原春生、辰見宣夫、福森英雄、福森信子

# 仁泉ひろば

## 医籍登録番号の話

文責／西村 保 (学4期)

私達医師は皆、医籍登録番号を持っています。いわば、医師の背番号です。

そもそも医籍とは現在では厚労省に備えてある医師免許を得た者の氏名、本籍地などを登録してある公簿のことです。

云うまでもなく江戸時代までの日本の医学は漢方が主流でした。ところが、明治政府はドイツ医学を範とすることに決定し、従来の漢方医を駆逐するのを目的として、明治七年に「医制」を布告して医師の資格を一定にしようとして医師の全国统一免許制を実施しました。その登録が「医籍登録」であったわけです。発案者は時の内務省衛生局長であった長与専斎であり、法制的には時の内務卿山県有朋です。

第一回目の医籍登録者は二十二名で、全員東京大学の卒業生であり、明治十七年四月十九日付で内務省より公告され、官報第二四一号（明治十七年四月二十二日）に掲載されました。

この記念すべき「医籍登録番号第一号」の医師は、静岡県出身の中野啓覚氏です。氏は安政五年二月十日生まれで、明治十年、近代医学を修める志を立てて上京し、明治十六年、東京大学別課医学科を卒業し、同年、誘われて群馬県館林で開業されましたが、明治二十年に郷里に戻り、沼津の獅子浜、八幡町、そして下本町に移られました。在野の名医として定評があり、小児科・産科を得意とされました。

その医院は現在も連綿として続いているとのこと。

## ご投稿のお願い

会員相互および母校とのコミュニケーションや情報交換の場として「仁泉会ニュース」を引き続き利用していただきたいと思っています。会員の先生方より本誌に対する忌憚のないご意見をいただき、同窓会の活動をさらに充実させていきたいと考えています。

下記の要領にて、多くの会員皆様からの投稿をお願いします。

- 支部会、クラス会、趣味の集会などの案内や報告
- 「仁泉ひろば」のコーナー
- 研究論文の要約（以前に他誌に投稿された内容でも結構です）
- 随想、紀行、写真、絵画、俳句、短歌、川柳などの趣味や特技
- 紹介したい店、場所、物など
- 本誌に取り上げて欲しい話題  
字数には制限は設けません。葉書1枚、便箋1枚でも結構です。
- 広告に関して

会員自身が出される広告は現在100字程度までは無料です。内容は、人材募集、開業場所の紹介、医院承継、ブライダル、趣味の発表会の案内などです。詳細については事務局までお問い合わせ下さい。

(内容により有料の場合があります)

事務局編集係

# 仁泉ひろば

jinsen-park

## 高齢医師の跋扈

文責／医療法人 大澤会 大澤 直（学14期）

コロナ君が暴れ始めて、予防が始まりアベノマスク等周りの環境が刻々と変化の中でロータリー関係、その他の人が集まる楽しい仕事や学会も無くなりまして夜はまったく人出がなくなり街は一時的にゴーストタウンとなり皆さんも不安を感じている中で、コロナ騒動でこの先どうなるか分からないというとき、この際だから79歳の自分に今まで付きあってくれた臓器にたいしての愛情と御礼を考慮して、外来診察と健診の減ったある日、京都府立医大内科の医局から派遣されてきておられる山口先生に上部の消化管の検査を、お願いしたところ胃の大湾のポリープから試験切除をいたしました組織の一部から病理診断で【印鑑細胞がん】がみつかりまして、根治的の外科手術が必要となりました。そこでよく考えて、高槻なら家からも阪急で20分と近いし小生のクリニックに医局から派遣で来ていただいている先生方の人格も皆とても良いと何時も考えていたので、早速に医局にお願いしようと考え、消化器外科の医局に連絡を取り李先生に連絡したいと申し上げたところ帰宅途中であったが李先生が早速クリニックによってくださいますとトントンと話しが決まったのです。

3月当時は大学病院も混んでいなくて、学会等も軒並み中止の状態であり、検査の結果が3/9にでてから、3/16には入院3/17には心臓カテーテル検査、当然血管撮影、CT検査、単純XR検査などを3/17から3/19の3日間にやっしまい、いったん3/21までの検査入院が終わりました。(循環器内科 森田)

更に同時に大腸内視鏡的にポリープの切除が実施されて8個のうち3個はかなり大きく、終わってすぐに見せてもらった山田4型のポリープの中には直径が1.5cmから2.0cmと悪性率が

高いものもあったのでポリープ後には病理検査をしてみたが全て異常なしだった。(消化器外科 米田)

ついで李先生の登場ですが3/25に再度入院して3/27に腹腔鏡下に胃大湾側にあったポリープを含めた部分切除と同時に大網その他のリンパ節を含めて廓清根治手術をうけて4/1に退院しました。

李先生の手術はよほど自信あったのか、または小生の冠状動脈の状態を気にされてか妻が説明を受けたのが午前10時40分と意外と早くなされたので、安心致しました。

後日6月に入ってから、当クリニック内視鏡室にて同医局の米田医師による経過観察の内視鏡検査でもどこを切除したのか全く解らないくらいになっていました、と報告をうけております。

しかしながら、実は李先生も検査の結果、冠動脈の動脈硬化が思ったより強く、術中(消化器外科)に何かあるといやだなと思っていたらしい。

そこで今まで元気で痙攣発作もなく来たのと言う小生に対して80歳を超えてから何か発作が起こってからはなく、というよりも自分だったらこうするであろうという外科の李先生の心のもった冠動脈の状態についての説明、森田先生の循環器内科の専門医としての忌憚ない意見を聞いているうちに単純にいい後輩というより、医療そのものの本来のあり方について患者サイドから考えるきっかけをつくってくれたのでありました。すなわち、専門分野が異なれば自分自身の考え方だけでは正しい方向に治療が進まないのではないかと感じつつあったのです。

さて、内山教授はじめ医局の皆様には、クリニックの外来のバイトなどで大変お世話になっておりますことに対しては心から感謝しておりますし、特に今回は個人的な事で、李先生、彼の友人関係の循環器科内科の森田先生には一方ならぬお世話になり、先輩として誇らしく思っ

たのでした。

勝間田教授については消化器外科の同門会で現在仁泉会理事長、同門会副理事長の安藤先生(学20期)から、今度胸部外科に40歳という若さで着任された優秀な教授がおられると聞いた記憶があったが、まさか自分がお世話になるとは夢にも思っていなかったのであります。

先生は現在、見事に花開き、いまや名医の誉れ高い方ではありますが、驚いたことに本学の為に彼を勧誘をしたのが現在小生が亀岡に建てた介護老人保健施設『こもれび』の施設長をやっている当時の学長だった小生の同期(学14期)の島田先生だったとは医療関係の世間はせまいものです。このあいだ、島田先生からその話を聞いて一度勝間田先生に会ってみたいと思っていたのです。

今回のコロナ騒ぎで4月から5月は自分自身のメンテナンスについては、つついおろそかになっていたのですが、小生が6/20に術後の経過観察で再度診察を受けた際に冠状動脈の状態について自分自身もすこしずつ考え方に変化が出て来ていたのです。

李先生の手術が終わった時点ではそれほど重要なのかという疑問【不安】については全く否定はしませんが、3月にOPが終わった際には自身も胸部の愁訴がそれ程強く無いのに開胸手術はキツイと言っていたということもあったのでしょうか。

妻も当初より同じようにもう一歩のところがあり、どうしても気持ちが一致したうでの治療がいいのではないかと考えてセカンドオピニオンについて話したところ京都大学循環器外科のOBで松田先生に彼の奥方からアポイントメントを取ってもらい(桑原武夫教授の娘さんで妻と中学以来の親友)過日、二人で松田先生のお話を聞かせてもらったのですが、勝間田教授とほぼおなじ内容でプッシュしてくれてすっきりと気持ちが決まったようであった。

これで女子軍団のバックアップがほぼ確実になったのです。そこで、小生の気持ちが決まったので8/14に入院、8/21に手術を受けること

になったのであります。

手術結果については、術前の説明ではアンギオ的には勝間田先生は左右の冠状動脈の状態は決して良好な状態とは言えなかったが両側の大伏在静脈を各1本ずつグラフトに使うって大動脈から吻合を行ってうまくいったとの説明を受けてそれを勿論信じています。その根拠は術後3日目以降、早期リハビリテーションが始まった時に術前にいつも感じていた胸部の重圧感が最近霧が晴れた様にスッキリしているのを実感しており、結果としては予想どおりの大成功であったということでもあります。(10/5 アンギオグラフィ) 冠状動脈の血行再建には【PCI】経皮冠動脈再建法と、【CABG】冠動脈バイパス術が知られている。

10/5に実施した術後のアンギオの結果について10/15の勝間田教授の外来診察の際に直接伺うチャンスがあり、説明を受けた画像には自分自身の左右の大伏在動脈グラフトによるCABGが高度な技術によって完成し十分な血液が供給されているのが良く解りました。

手術にあたっては人工心肺が用いられるが、近時は人工心肺を用いないオフポンプ冠動脈バイパス OPCAB が用いられることもある。ちなみに、どちらの手術も本邦では手術死亡率は約1%である。

以前は手術後長期になると心配になるのは静脈グラフト病が心配になるが、最近グラフト採取に際して【ノータッチ法】で行われるようになり長期成績が良くなった。

また、余談であるが手術時に前立ちを務めて下さった大門先生とはこれまた不思議な縁で京府医大時代にクリニックになる前の大澤病院で当直医のアルバイトをしてくれていたとのことであった。

クリニックの現在の事務長は空手道にたけた男であるが、彼の場合は先天性疾患であったが3回の開胸手術の経験者で1回目は痛みはそれ程のことはないといわれていたが、それについては気休めではなく、間違いのない事実であった。しかしながら、術直後のチュウブ類の多いのに

は辞易しました。人間は勝手なもので今や点滴棒がないと不安定に感じることに自分自身の不遜を感じているしまつである。

さて、今回の手術においては、本当に勝間田先生にはその才能を十分に発揮していただき小生の考えていた結果を出していただきまして、感謝と感銘に堪えません。本当にありがとうございました。と同時に、大門先生はじめ医局の先生方にも厚く御礼申し上げます。

更に、小生を何時も見守ってくれている守護霊さまにも感謝いたします。

奥方との二人の間については全く別の世界があるのでそれについてはご法度ということでご勘弁ください。

本当にありがとうございました。

父親は長寿で92歳まで生きていたのですが、ある日トイレで滑ってこけてから、家での生活が無理となり、小生すでに院長になっていたの、特別室に収容して家政婦協会から2人、なるだけ若い家政婦さんを24時間交代で付き添わせて約2年間面倒を見ていたのですが、この間、時間がある時の部屋訪問での話は今までの人生で一番役立っていると思っています。

ある金曜日の朝、いつものように部屋に行くとニコッと手を挙げて、「なおし君、えらい長いこと世話になったな、そろそろ迎えが来そうだよ。」と言っていたのが最後で、小生が手術中に病棟より心停止の連絡があり、直ぐ京都新聞の友人に頼んで夕刊、明日の朝刊に公告を間に合わせ、公益社、警察に連絡。土、日に通夜葬儀を終え月曜から通常通り診療しました。

#### 小生の家族歴についてのデータ

今回の入院のきっかけは、胃腸の関連からであったためか同時に行なった術前検査の結果得られたデータにあった冠状動脈の狭窄に対して小生が手術を受ける気持ちの整理について、また、自身の家族歴の質問がなかったのですが申告しておきます。

①母親は、日ごろは元気な気の強い事務長であった。65歳をすぎたある日、父親と出かけた秋田県の温泉の部屋で父が朝起きたら隣の布

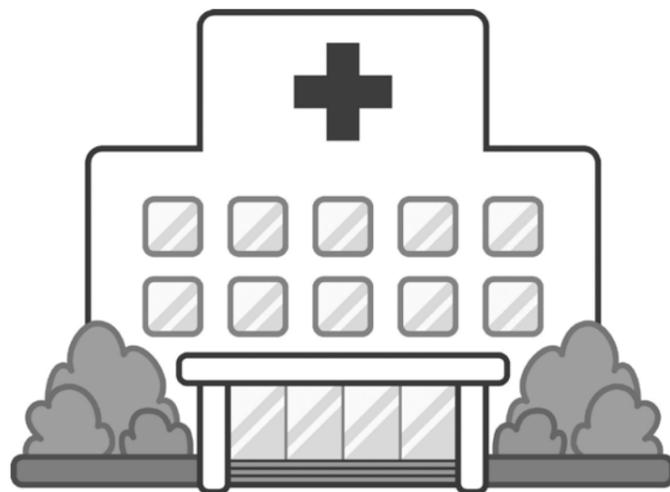
団でつめたくなくなっていたのです。

②母の後を継いで事務長をやっていた12歳年が上だった次兄死亡も、小生が何かの会の幹事役だった為、今夜は当直医の先生ももう来ているので、「隣の大丸の地下で奥方にお土産持って帰りや」と言ったのが最後の会話であり、家族も誰も知らない間に2階の自分のベットによこたわっていたとのことである。彼は第二日赤救急で心臓疾患を指摘されていた。

③その後姉の旦那で、小生の仲良しだった義兄は京都大学附属病院（RK）で死亡。

④姉貴は15歳はなれていたが、夫亡きあとは長男の奥方の家の隣で一人暮らしであったが、風呂場で一人で浮いているのを当時京大麻酔科に在籍していた長男に発見されている。

小生に当てはめてみると、今は何とか自然にできたバイパスがうまく働いて心筋を持たしているだけで、この後いつまでそれが続くという根拠はない事。症状が出た時、80歳を超えて更にまともな血管保証がないならば、この期に思い切って適切な手術なり処理を受けるべきであろうと考えてしまっていたので、いろいろと考えているうちにやはり後輩のいう事が合理的な配慮であると思うようになったのです。いったん納得してしまえば、医者としては考え方がふらふらする状況ではなかった。



## 事業報告 学生生活虎の巻 その八

### 上級生と下級生の交流の場が設けられました！

編集部がレポート！

2020年9月19日（土）学生生活虎の巻が開催されました。学生の実行委員会が企画をし、仁泉会と大学が共催するこのイベントも今回で8回目。今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインミーティング専用アプリ「zoom」を使い、オンライン上で実施。4～6回生の上級生が下級生に向けて、勉強の対策や学生生活の過ごし方などをそれぞれ話していただきました。ここではお話を要約したものを紹介します。

#### プレゼンター

山本千裕さん（5回生）  
宇都山 遥さん（5回生）



#### QBT 対策について

4回生の1月から5回生にかけて、病院実習を行います。医師免許を持たない学生が患者さんに接したりカルテを見るなどして、医療行為に近いことをします。それで臨床実習をする前に、学生が医学について学んでいることを確認するテストをCBTといいます。

どうやって勉強するかというと、ほとんどの人は大学で用意してもらったスライドや映像を使った授業で学んでいきます。CBTや国試対策用に作られているので、とてもわかりやすい。代表的な映像授業は medu4、Qアシスト、メック、テコムといったものがあります。ひとコマの時間や授業の内容は各社それぞれです。ひと通り調べて、自分に合うスタイルを今のうちに知っておくと、直前に慌てなくて済むと思います。

私たちが取ったアンケートでは79%の人が映像授業を受けたという結果が出ました。少数派の意見としては「普段の授業用にビデオ講座を購入しているので必要なかった」「時間の余裕がなかった」「QBをすることに特化したから」などの理由が挙げ

られました。

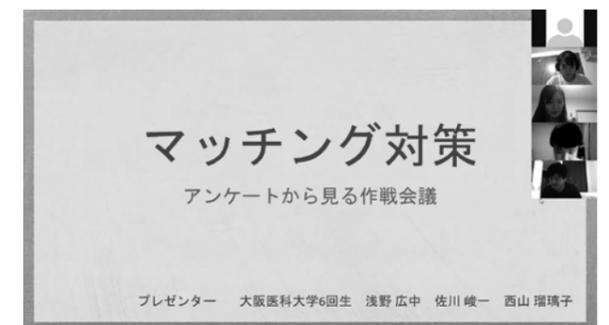
QBの問題集についても少し触れます。公衆衛生や臓器別疾患など5冊に渡って学習します。これがなかなかのボリュームで、1回生や2回生のうちにしっかり基礎を学んでいかないと、ここでつまづいてしまうので注意してください。

今回アンケートを取って改めて気づいたのですが、成績が良かった人に限ってしっかり課外活動をしている人が多かったんです。決して課外活動が勉強を妨げる故地にはなりません。むしろ多くの経験を積んで、勉強にも生かしていきましょう。



#### プレゼンター

浅野広中さん（6回生）  
佐川峻一さん（6回生）  
西山瑠璃子さん（6回生）



## マッチング対策について

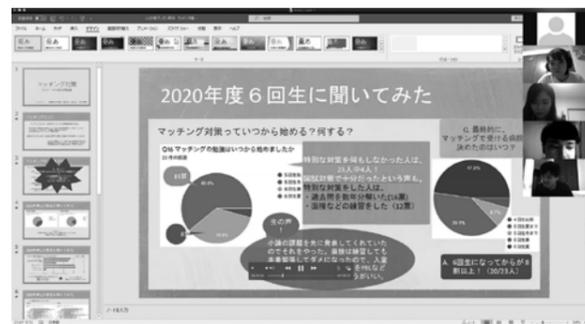
マッチングとは、医学生にとっての就職活動のことです。大学を卒業すると初期研修医として2年間病院で働くこととなりますが、その病院を自分で決める必要があります。当然病院側にも必要な人材を求めますから、それなりの関門を用意して待ち構えていますので、学生も対策を練らないといけません。

スケジュールは、6回生6月中旬から8月上旬にかけてマッチングの参加登録をし、10月下旬ごろに結果発表があります。アンケートを取ったところ、70%の人が5回生の時にいきたい病院を決めたという結果が出ました。そして5回生の夏には、ほとんどの人が病院見学に行っています。そこで病院の雰囲気や研修医・指導医の雰囲気を確認し、6回生の夏までに最終的に自分がいきたい病院を決めるということになります。

病院の情報は、レジナビ合同説明会や地域別臨床研修病院紹介Book、病院のホームページ、先輩からの口コミなどが挙げられます。なので、5回生になったら、こういったものを使って情報収集し、自分に合う病院を見つけていった方がいいと思います。

とはいえ、病院側にも選んでもらわないといけないので、大事になってくるのは履歴書です。ここにどれだけ自分の強みを書くことができるか。それは5回生になってから見つけても遅いので、低学年のうちから「人とは違う、自分だけの強み」を見つけていくことが大切。部活を頑張るのも大事ですが、それは誰もがやっていることだから、課外活動などで新たなチャレンジをしてみましょう。また、履歴書でアピールするためには、ある程度の文章力も必要です。5回生になってクリクラが始まったら実習報告を書く機会があるので、そこをサボらずに自分の言葉でしっかりと書く練習をしてください。

5回生、6回生になったら忙しくなるので、早い段階から自分の強みを見つけ、そしていきたい病院を探し、目標を作ってください。行動の仕方が定まってくるし、モチベーションも上がります。



## プレゼンター

織 優月さん (3回生)

平井咲帆さん (3回生)



## カリキュラムについて

1回生は一般教養の授業もありますが、こちらはちゃんとやってさえすれば単位はもらえます。専門科目では、人体構造入門として、人体発生学と細胞組織学を学びます。

2回生は大きく前期、中期、後期に分かれて学習します。前期のテーマは「正常を学ぶ」ことです。人体の構造は午前には講義を受けて午後からはその分野の解剖実習をします。組織学は難しくなりますが、1回生の時にきちんと勉強していれば大丈夫です。また神経学は講義数が少なく中身を詰め込まれるので、効率よく予習・復習をしておく方がいいでしょう。中期は主に人体の機能について学びます。正常が破綻することでどのような病気が生じるかを学ぶので、前期をしっかりこなさないとつまづいてしまいます。後期は病原体、生体防御、病理学がメインです。動物を使った実験もあります。

2回生はテストと休みがかぶっているため、解剖を頑張ると夏休みが長くなる。生理学や生化学を頑張ると冬休みが長くなる。病理学、薬理学を頑張ると春休みが長くなりますので、頑張って休み期間を楽しみましょう。

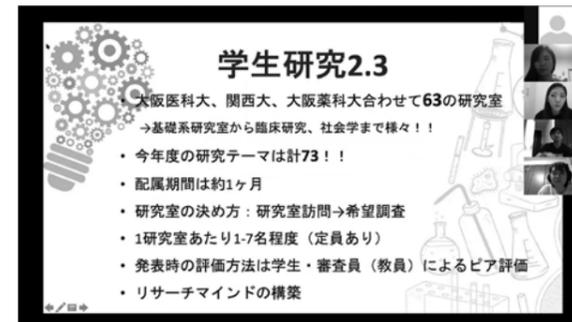
早期体験実習についてもお話します。1回生の目標は、医学生として患者をエスコートすることで患者の立場や心情を理解することです。2回生になると病棟スタッフステーションでの業務に参加させてもらうことで、チーム医療の一員としての役割を理解します。3回生はPBLがあります。少人数のグループで課題文から問題点を見つけ、自己学習で解決の方法を探ります。テストは前期と後期にあって、直前はかなりハードになります。徹夜することも多かったですが、達成感がすごくあって、医学部の学生として学んでいる喜びも実感できます。

基本的なところをしっかりと学ばないと次のステップが大変なので、頑張ってください。

## プレゼンター

佐野詠里子さん (4回生)

岡崎早也圭さん (4回生)



## 学生研究について

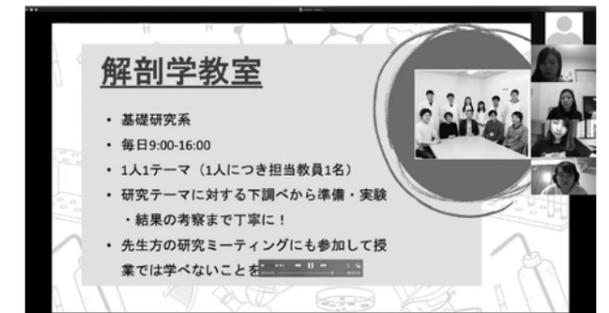
学生研究は、大阪医大、大阪薬科大、関西大の3つの大学の合わせて63の研究室のどれかを選んで、学生の目線で研究をしていきます。大体1~7人くらいのチームで、1ヶ月間配属されます。今回は私たち2人が行った研究室のことをお話します。

佐野さん/私はIR室に行きました。簡単に言うと、大学の状況を分析してもっといい大学にしようと言う研究になります。この結果は年に一度発行される学勢調査にも反映されます。3人のチームで、日々の学生生活を分析して考察しました。

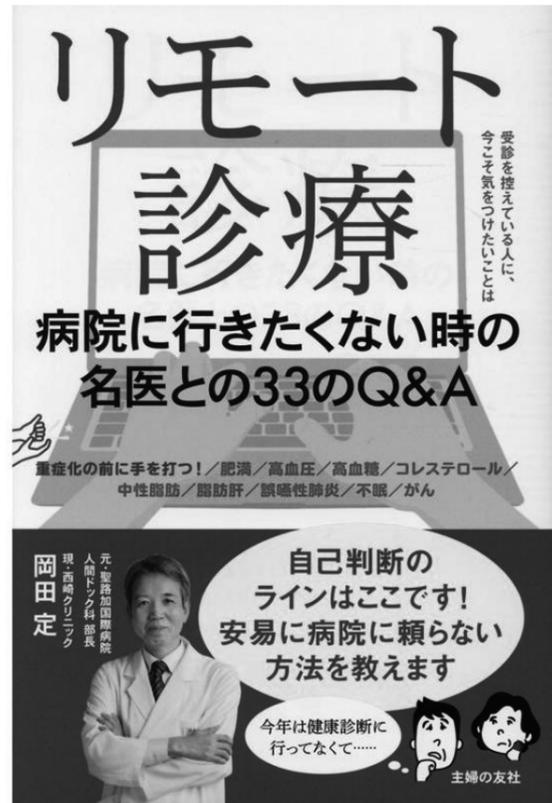
大阪医大だけではなく、大手門学院大と神戸学院大にも訪問。学食でご飯を食べたり、学生の前でプレゼンしたり、教授室にもお邪魔してお話を聞いたりしました。他大学の様子を知ることによって、大阪医大の学生らしさって何だろうと言うことが考察できて楽しかったですね。



岡崎さん/私は大阪医大の解剖学教室に行きました。チームは6人。朝の9時から夕方4時までひたすら研究をしていたので、すごくハードでした。学生1人につき先生が1人ついてくれるので安心だったのですが、研究の中で仮説を立て、下調べから準備、実験、結果の考察まで1人でしないといけないので大変でした。ちなみに私は「脳の部位によるアストロサイトの種類の違い」について考察しました。時間はかかりましたが、とても勉強になったと思います。



## 会員著書



### リモート診療 病院に行きたくない時の名医との 33のQ&A

著者：岡田 定  
主婦の友社 ¥1,200+税

#### 「リモート診療」のご紹介

文責／元・聖路加国際病院人間ドック科部長  
現・西崎クリニック  
岡田 定 (学30期)

私は、2020年3月に聖路加国際病院を定年退職し、4月から西崎 統先生(学16期)の西崎クリニック(東京都中央区月島)に勤務しています。

本書は、聖路加国際病院の宿泊人間ドック受診者に配布していた手作りパンフレットをもとにしています。

「安易に医療に頼ることなく、生活習慣の改善によってもっと健やかに生きてほしい」とい

う願いを込めました。

世界は今、コロナ禍に揺れています。

患者さんは、体調になんらかの不安があっても、以前のようにゆっくりと医師に相談できないかもしれません。健康診断の受診を控えておられる方も多いのではないのでしょうか。

そこで、出版社の方と相談して、リモートで診療を受けたような気持ちになっていただける本にしました。

中高年者によく見られる33の健康問題を、具体的な質問(Q)に置き換えて、実際にどうしたらよいかをお答え(A)しています。

食生活、お酒、タバコ、運動、睡眠、ストレス、生活習慣病、認知症、ピンピンコロリ、加齢など広範囲の健康問題に及びますが、本当に大切だと思っただけをまとめました。

高齢者にも読みやすい大きな字で、30分もあれば読み終えることができます。

会員の皆様のご診療にお役立ていただければ幸甚です。

もし何かお気づきの点があれば、お教えいただければありがたく存じます。



## 出演情報

ABC ラジオ AM1008 FM93.3

radikoなら、聴きながしても一週間は大丈夫!

スマホでも聴ける  
スマホアプリ (radio.jp)  
有線放送機器 (radiko)

佐藤修平の  
とっぴおき情報

2020年10月  
13日(火)~15日(木)  
17時10分~17時15分

パーソナリティ：佐藤 修平  
(ABCアナウンサー)  
松山 薫 (フリー)

ゲスト：藤尾 圭司 先生  
枚ヘルスケアグループ  
枚整形外科病院 院長

テーマ：① 腰椎椎間板ヘルニア  
② 腰部脊柱管狭窄症  
③ 高齢者の骨粗鬆症性椎体骨折及び  
腰痛がり

痛みのせいで外出しないのはもったいない  
腰の痛みのプロフェッショナルが  
注目の治療法についてお答えします。

★★★2020年10月13日(火)~15日(木)のABCラジオに  
藤尾圭司先生(学34期)が出演されました。★★★

## 原稿募集

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、  
予定されているクラス会や支部会などが中止若しくは  
延期を余儀なくされ、原稿が大幅に減っております。  
ご多忙とは存じますがテーマ、題材を問わず広く原稿を募集いたします。  
ご寄稿お待ちしております。  
例：新型コロナウイルス感染症に対する日々の取組み、診察対応など近況報告等

仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636  
e-mail / jimu@jinsenkai.net

# 新聞切抜

**皮膚のトラブル④**

水虫の原因として有名な白癬菌の一種、「トリコフィトン・トンスランス」が引き起こす皮膚感染症が、柔道、レスリング、相撲といった格闘技を習う大学生や成人のほか、体を接する機会の多いクラブ活動を通じて中高生に流行することがあります。感染力が強いため、体の接触がなくても畳、マット、タオルなどを介してうつり、さらに家庭内で誰かが発症すれば子どもにも広がります。

この菌はカビ（真菌）の仲間です。約20年前にスポーツ交流で

### トンスランス感染症の症状



海外から持ち込まれました。感染した場所が体であれば、体表に赤く、少しかさかさした円形か環状の斑点が表れ、頭の場合、頭皮の毛根に菌が潜み、無症状のまま広めることも

はフケや脱毛がみられます。診察では、患部表面のカサツいた部分を少しこすって皮膚を採取し、顕微鏡で観察するか、培養検査をして診断を確定させます。体の皮膚には抗真菌薬を1か月以上塗りますが、皮膚が多いか、薬を塗って治った後に再発した場合、あるいは頭部の感染が明らかならば抗真菌薬の内服が必要です。

ただ、皮膚のかゆみが強い人、菌が頭部の毛穴に潜んで症状が全く出ない「無症候性保菌者」もいます。後者による集団感染を防ぐには、「ヘアブランチン」と呼ばれる特殊な検査



皮膚のトラブルでは、大阪医科大学の森脇真一教授(59)に写真に聞きます。(聞き手・東礼奈)

## 子なび

**皮膚のトラブル⑤**

乳児は生後3か月まで皮脂の分泌が旺盛で、しばしば顔や頭に赤い湿疹ができます。「脂漏性皮膚炎」と呼ばれる皮膚病で、湿疹が黄色く薄いかさぶたに覆われているのが特徴です。特に額、眉間、鼻の周りといった皮脂分泌の多いところ(脂漏部位)によく見られます。

皮脂を好む皮膚の常在菌・マラセチア菌が、湿疹が悪化する原因とされます。見た目がひどいため、母親が子どもを抱いて不安そうな表情で来院されて



この皮膚病は、①せっけんやシャンプーを使って顔や頭を洗う②頭のしつこいかさぶたは白色ワセリンやオリーブ油でふやけさせて洗い流す③という習慣を続けることで治まっています。

湿疹がひどい場合には一時的にステロイド外用薬を使うこともありますが、遅くとも生後6か月頃には皮脂の分泌量が減るため、自然に軽快します。

その後も症状が続く子は、乳児期の乾燥肌とアレルギーの体質が原因のアトピー性皮膚炎かもしれません。頬、額、目の周りの症状がひどく、体幹、四肢の屈曲部にもじゅくじゅくした病変が生じるほか、かゆみもあります。適切にステロイド外用薬を使えば症状は治まりますが、ひどい時はかゆみ止めの飲み薬も併用します。



皮膚のトラブルでは、大阪医科大学の森脇真一教授(59)に写真に聞きます。(聞き手・東礼奈)

### 水虫菌の仲間部活動通じ流行も

部活動が終わったら、なるべく早くシャワーを浴びたり、柔道着など練習で使った着衣をこまめに洗濯したりすることも感染予防には有効です。症状からトンスランス感染症が疑わしい子がいれば、集団発生と家族内発症に注意した上で、部活動は休ませ、まずは最寄りの皮膚科の専門医に相談してください。

# まんが47

辛しぼん太いこ (学31期)

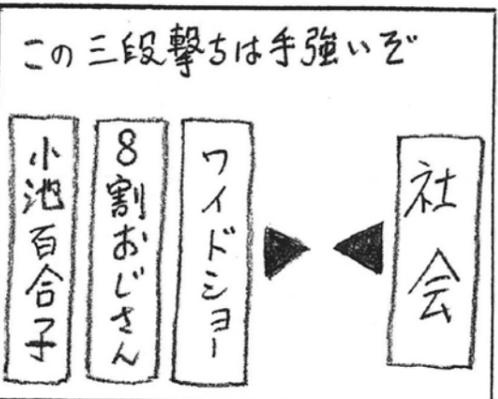
## 二類



## 宴会



## ながしのの戦い



★★★2020年11月11日(水)、25日(水)付け読賣新聞夕刊に森脇真一先生(学35期)の記事が掲載されました。★★★

# 本部だより

## 会員訃報

次の会員が亡くなりました。  
慎んでご冥福をお祈り致します。

事務局編集係

### 高医17期 中田勝次先生

令和2年9月13日慢性呼吸器不全の憎悪の為ご逝去（94歳）。昭和23年卒。  
母校病理学教室助手（昭和24年10月～）同教室講師（昭和29年8月～）病理学第一講座助教授（昭和32年7月～）を経て昭和48年1月に同教室教授に就任され、後輩の育成に貢献されました。また、学生部長（昭和56年4月～）倫理委員会委員（昭和63年2月～）図書館長（昭和64年4月～）として大学運営にもご尽力いただきました。日本病理学認定病理医（昭和54年3月～）病理専門医研修指導医証（平成18年4月～）日本病理学会評議員（昭和35年11月～）日本臓器学会評議員、日本脈管学評議員（昭和38年12月～）など数々の評議員・委員を歴任されました。  
ご遺族 妻 ユク子様

### 高医19期 村岡徹二先生

令和2年10月22日胸部食道癌の為ご逝去（92歳）。昭和25年卒。  
藤井寺市にて小児科をご開業になり、日本小児科学会専門医として地域医療の為に尽くされました。  
ご遺族 妻 晃子様

### 学部1期 西林茂祐先生

令和2年11月12日肺炎の為ご逝去（93歳）。昭和27年卒。  
母校微生物学教室、小児科学教室を経て、昭和31年に西宮市にて内科・小児科をご開業になり地域医療に貢献されました。仁泉会役員として会務運営にもご尽力いただきました。  
ご遺族 妻 孝子様 甥 余田篤様（学30）

### 学部3期 武井廉平先生

令和2年10月25日肺炎の為ご逝去（94歳）。昭和29年卒。  
昭和42年に高知市にて武井整形外科を開業されました。平成16年に閉院された後も白菊園病院で整形外科部長としてお勤めになり、ながきに亘り地域医療に貢献されました  
ご遺族 長男 良憲様

### 学部4期 杉本徹一先生

令和2年3月20日老衰の為ご逝去（90歳）。昭和30年卒。  
大阪市北区にて内科を開業されました。その後、住友総合健診システムにてご勤務になり、地域医療に携わられました。  
ご遺族 長男 雅一様

### 学部6期 杉野彰一先生

令和2年4月21日急性心臓死の為ご逝去（88歳）。昭和32年卒。  
卒業後、母校精神神経科教室に入局、満田久敏教授に師事されました。昭和42年に奈良市学園前にて内科・精神科医院をご開業になり、平成16年に引退されるまでの37年間を地域医療の為に尽くされました。現在医院は長女様ご夫婦が継承されておられます。  
ご遺族 妻 敬子様

### 学部12期 吉田利治先生

令和2年6月11日ニューモシスチス肺炎の為ご逝去（84歳）。昭和38年卒。  
卒業後、神戸大学産婦人科に入局されました。1966年～県立西宮病院、1970年～県立がんセンター、1972年～公立豊岡病院、1974年～加古川市民病院、1978年～2005年医療法人薫風会佐野病院にてご勤務になり、地域医療に貢献されました。  
ご遺族 妻 昭子様

### 学部17期 葛本洋一先生

令和2年10月17日誤嚥性肺炎の為ご逝去（79歳）。昭和43年卒。  
昭和50年11月に医学博士学位を取得されました。第2内科でのご勤務の後、大阪市東住吉区にてご開業になり地域医療に尽力されておら

れました。  
ご遺族 妻 育美様

### 学部19期 石川義臣先生

令和2年11月3日心筋梗塞の為ご逝去（75歳）。昭和45年卒。  
愛媛県西条市にて外科をご開業になり、地域医療の為に尽くしておられました。  
ご遺族 妻 富貴子様



## 編集部より

### 写真・絵画などの作品募集のお知らせ

仁泉会ニュースの表紙を彩るお写真や絵画などの作品を募集します。季節の風景、お住まいの地域の街並みの写真、ご趣味で描かれている絵画などをお送りください。なお、掲載時期及び掲載の有無に関してはご一任くださいますようお願い致します。



写真ご投稿 「高槻市民憲章」西村 保先生（学4期）

## メディア掲載・書籍発行の際は編集部にお知らせください

テレビ、ラジオ、新聞などのメディアにご掲載になられた会員諸先生方がおられましたら掲載された原本を同封のうえ、事務局までお送りください。（自薦・他薦は問いません）

仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636  
e-mail / jimu@jinsenkai.net

## 支部会・クラス会開催にあたって

支部会・クラス会開催にあたり、ご案内発送や出欠の集計等を仁泉会事務局にてお手伝いさせていただきます。お気軽にご相談ください。

仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636  
e-mail / jimu@jinsenkai.net

## 編集部より

### 会費納入のお願い

年会費

令和2年度 10,000円

令和元年度 10,000円

平成30年度 10,000円

納入のご協力をよろしくお願い致します。

事務局 会計係

### 原稿募集のお知らせ

仁泉会ニュースの原稿を募集しております。日々の診療で感じられた事、研究報告、趣味のお話やクラス会や支部会のご報告なんでも結構です。

ご投稿お待ちしております。

●52巻2号（令和3年3月1日発行）

締切 令和3年1月末日

●52巻3号（令和3年5月1日発行）

締切 令和3年3月末日

●送付先：仁泉会事務局 〒569-8686 高槻市大学町2-7

E-mail：jimu@jinsenkai.net FAX：072-682-6636

初めまして。平成11年卒業の操真紀です。現在、兵庫県伊丹市で開業しており、医療法人社団宮崎クリニックで理事長兼院長をしています。私の母である前院長宮崎淑美が令和2年2月に死去し、それに伴い管理者交代を行い現在に至ります。私事で恐縮ですが、結婚後岐阜市に在住しており、将来的に家族のいる岐阜市に帰りたと思っています。そのため、当院を引き続き管理して下さるドクターを現在探しているところです。

当院は閑静な住宅街にあり、診療科は小児科、内科、皮膚科を標榜しており、乳幼児から後期高齢者まで幅広く診療し、地域のファミリードクターであることをモットーとしています。現状では、内科患者が8割、小児科患者1割、皮膚科患者1割です。在宅医療も行っていますが、あくまでかかりつけの患者が来院困難になった場合に対応する形で、積極的に行うものではありません。一日の診療時間は6

時間、週の勤務日数は4.5～5日で、当直や残業は基本なく、ゆったりと診療ができます。診療時間外では、季節的なもので学校健診や就学時健診、通年で保健センターでの乳幼児健診の当番があります。年末年始、夏休みは1週間ずつ休暇があります。

院内スタッフは8名でほぼ女性です。当院で5年以上勤務の医療事務に熟練したスタッフがいます。また、事務長（男）がいますので、経理や給与計算、雇用関係で煩わされることはありません。立場としては、医療法人内での管理者＝院長ということになりますが、ご自身の資金に余裕があり、医院の買い取りが希望であれば相談に応じます。（但し、当院は少し規模が大きいため2億近く必要です。）

募集するドクターに期待することは、幅広く内科診療ができ、患者の話に耳を傾け寄り添うことができることです。

主な雇用条件につきましてはお問い合わせ下さい。

**宮崎クリニック**  
MIYAZAKI 小児科・内科・皮膚科

072-777-0045

宮崎クリニック理事長・院長  
操真紀



### 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

「めでたさも中ぐらいなりおらが春（小林一茶）」という句があります。解釈は様々あるようですが、いずれにせよ、心から祝えるめでたい正月ではないよという意味でしょう。今年のCOVID-19パンデミック流行が、終息しないままに迎えることになった正月ですが、仁泉会会員諸兄弟には、それぞれどのような新年をお迎えになられたでしょうか。

恒例の新年ご挨拶で紙面を構成いたしました。大学、仁泉会役員の先生方、各支部長先生方には、昨年9月号から間隔を置かずのご寄稿にお礼申し上げます。

P36に尼崎伊丹支部総会、P38に三三会（学

11期）の記事を掲載しましたが、支部、クラス会報告は久しぶりのことです。尼崎伊丹支部総会も今回は会食無しで、感染予防に十分に配慮の上、短時間の開催であったようです。記事中に年一回、顔合わせする意義はあるとの記載がありますが、同感です。実際対面の開催形式を望むのは、ノスタルジーだけではないように思います。

今年は、時期は不確定ですがワクチン接種も開始される予定で、COVID-19へ対抗するツールも整ってきそうです。仁泉会の先生方もそれぞれの現場での対応に追われることになると思いますが、何よりご自身の健康を守りつつのご活躍をお願い申し上げます。（治）



ハードルをジャンプ!!

地元で **50年**

薬袋・診察券・カルテなどの

**医療印刷**

**タツミ印刷株式会社**

お気軽にご相談下さい。

池田・高槻

tel: **072-761-8434**

補助金も適用出来ますのでご相談ください

# 患者様・スタッフの 安心と安全のために

## 病院・クリニックの除菌・抗菌サービス

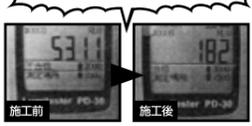
作業料金 25㎡以下 30,000円 26~50㎡ 60,000円  
50~150㎡ 1,200円/㎡ 150㎡以上別途お見積り

病院・診療所・  
薬局・訪問看護  
ステーション  
も対応可能

3ヶ月  
抗菌持続で  
長く安心!

天然成分で  
健康被害  
なし!!

施工後、ウイルスの数は激減!!



信頼あるキッコーマンバイオケミファ(株)の測定器で調査すると施工後50分でこんなに数値が変動します。



業界で唯一承認されている実績のある除菌方法です。

FDA SGS

NaturaCoat

# 除菌工房

株式会社エース

お気軽にお尋ねください!

にっこり とそう

# tel.0120-25-1030



## あなたを支えてくれる結婚相手をご紹介します

ロイヤルマリッジは日本最大級の会員数!

優良企業が取得する結婚相手紹介サービス業認証取得

10 0011 (04)

**I. JBAおあいてネット**

一般社団法人日本結婚相談協会  
(株)日本ブライダル連盟 (BIU)

**JBA**  
Japan Bridal Association

提携社数 約1,600社加盟  
総会員数 約52,000名

**II. コネクトシップ**

総会員規模55,000名! 月間お見合い数約28,000名  
ims及びCMS認証取得結婚相談所でのご利用となります。

コネクトシップ参加団体  
日本結婚相談協会(JBA)、婚活エージェント、  
シニアライフ(マリックス)、パートナーエージェント、  
日本人連盟(NNR)、全国仲人連合会、結婚情報センター(ノzze)、  
リクルートマーケティングパートナーズ(ゼクシィ縁結びエージェント)、  
その他参画企業

I+II=約107,000名

ドクターズコース・エグゼクティブコース  
その他コースもございますので、お気軽にお問い合わせください。

# 入会金無料

ロイヤルマリッジ(梅田本店) 検索

〒530-0001 大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル16F  
06-6341-2252 info@j-bride.co.jp

支店 福岡/大阪北/名古屋/東京  
営業時間 11:00~19:00(火・水定休日)  
フリーダイヤル 0120-941-707

無料結婚相談開催中

30 Anniversary

# 広告募集!

仁泉会ニュースでは、広告の募集もしております。  
ご出稿のタイミングや料金などは事務局までお問い合わせください。

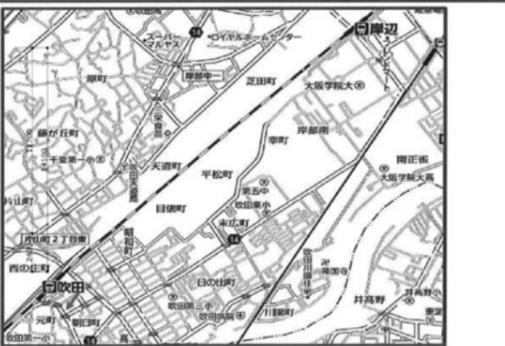
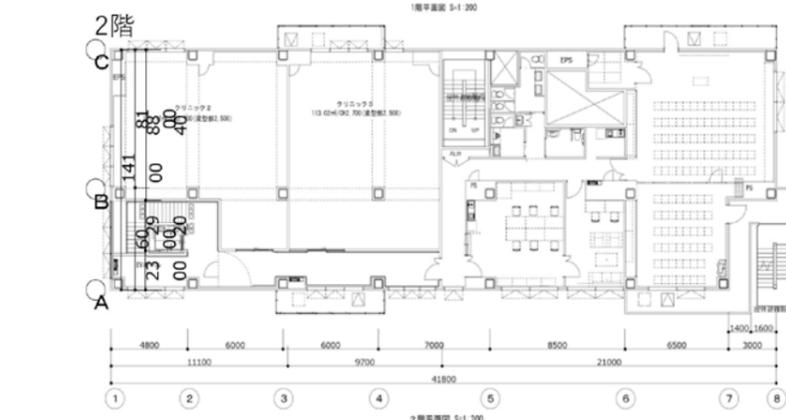
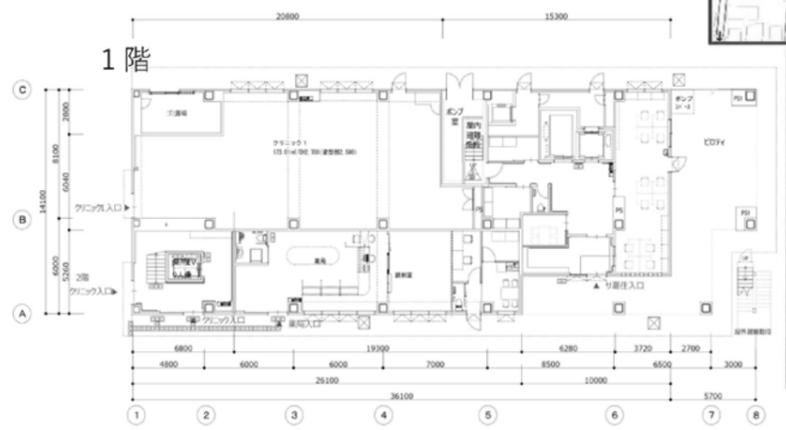
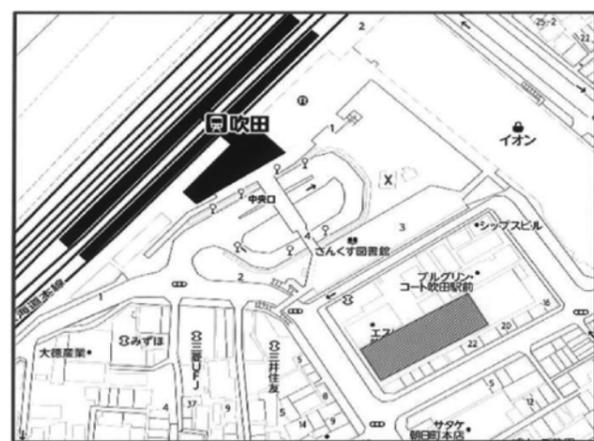
TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636  
e-mail / jim@jinsenkai.net

# クリニック開業テナント募集!

## JR京都線「吹田」駅前 徒歩 2分 !!

- \* 立地 旭町商店街に立地し、スーパー、銀行、飲食店もあり人通りも多い!
- \* 物件概要  
新築物件 令和3年4月30日完成 (完成日までに内装工事施工OK!)  
鉄骨造/地上8階建 耐火建築物 内 1・2階部分 専用エレベーター
- 所在地 大阪府吹田市朝日町1181-2
- 募集科目 小児科・内科(各種専門)・皮膚科・眼科・心療内科  
耳鼻咽喉科

- 面積 A. 1階 173.02㎡ 52.43坪  
B. 2階 111.12㎡ 33.67坪  
C. 2階 113.02㎡ 34.25坪
- 賃料 12,500円/坪~13,500円/坪
- 保証金等 賃料の6か月分 (返還規定あり)
- 契約期間 18年 (満了後再契約更新)



お問い合わせは

株式会社K K C  
株式会社コーナン薬局

担当 石束 (イシヅカ)

携帯090-1594-4110

ishizuka\_t4692@yahoo.co.jp

ご連絡お待ちしております。